

2017（平成29）年度

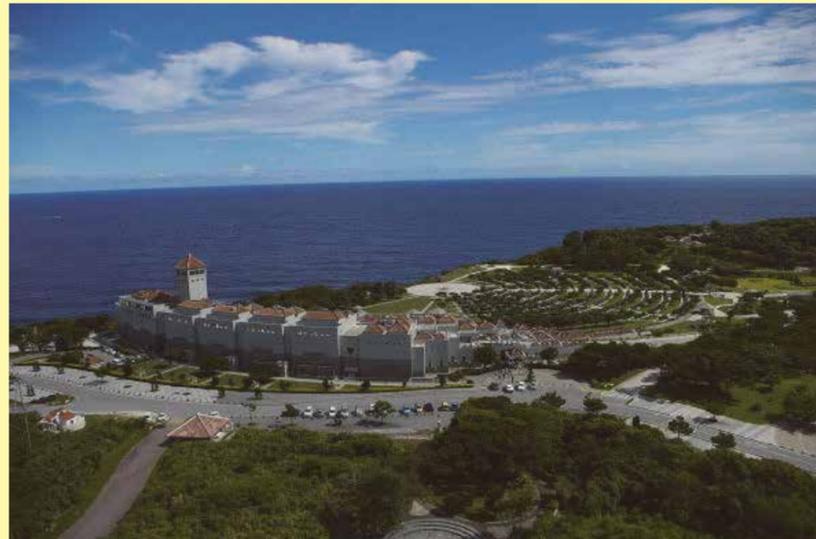
沖縄県平和祈念資料館年報 第18号

二〇一七（平成二十九年度）

沖縄県平和祈念資料館年報

第十八号

沖縄県平和祈念資料館



沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

2017（平成29）年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第18号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：平成29年度 第27回児童・生徒の平和メッセージ展

図画部門 小学校低学年の部

最優秀賞「ようこそ赤ちゃん、へいわなせかいへ！」

石垣市立真喜良小学校2年 石川日世里

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念

はじめに

I 概 要

1 沿革	1
2 日誌(抄)	4
3 施設	7
4 組織	10
5 決算	16
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	17

II 調査研究事業

1 特別企画展のための研究調査	18
2 日本平和博物館会議	19

III 展示企画事業

1 常設展	20
2 企画展	
(1) 第18回特別企画展 「戦世と沖縄芝居一夢に見る沖縄 元姿やしがり」	23
(2) 子ども・プロセス企画展	24
(3) 新収蔵品展	26
(4) 平成29年度ギャラリー展	27

IV 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録	29
2 資料貸出	
(1) 写真パネル・実物その他	29
(2) 証言映像の貸出	31
3 撮影・掲載等利用一覧	32

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第27回「児童・生徒の平和メッセージ展」	35
(2) 親子ビデオ上映会及び沖縄戦関連ビデオ上映会	37
(3) 夏休み子ども向け企画	37

2 教育機関との連携

(1) 平和講話	39
(2) 博物館学芸員実習	39
(3) 児童・生徒の職場体験	40

3 講座・講習会・研修会

(1) 特別講座	41
(2) 沖縄県平和祈念資料館講習会	41
(3) 平成29年度沖縄県博物館協会・研修会	42
(4) 平成29年度沖縄県地域史協議会	42
(5) 県立学校、幼稚園初任者研修会における講義	43
(6) 教職10年経験者選択研修会における講義、館内視察案内	43
(7) 沖縄県新規採用職員後期研修会における講義	43
(8) 「島守の塔」慰霊継承新採用職員における講義、館内視察研修	43

(9)	自治大学校第1部・第2部特別課程第29期事後研修における講義、館内視察研修	43
(10)	JICA 名桜大学連携講座における講義	44
(11)	おきなわ国際協力人材育成事業 (OIC コース 2017) 国別事前学習プログラムにおける講義、見学	44
VI	広報活動・出版等	
	刊行物	44
VII	その他の事業	
1	「戦世の記憶」平和発信強化事業	45
2	第6回「児童生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」	47
3	JICA 草の根技術協力事業	49
4	ヒロシマ原爆展	50
VIII	入館者状況	51
1	月別入館者数	
2	年度別入館者数 慰霊の日無料入館者数	
3	月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況	
4	市町村別団体入館者数	
5	都道府県別団体入館者数	
IX	八重山平和祈念館	56
1	概要	
2	施設	
3	事業概要	
4	月別入館者数	
X	沖縄県平和祈念資料館友の会	62
1	活動内容	
2	申込方法	
3	申込条件	
4	平成29年度講話・ガイド活動実績件数	
5	平成29年度活動内容	
X I	関係条例・規則・要綱	64
1	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	
2	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	
3	八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	
X II	沖縄県立平和祈念資料館 (旧館) 年度別入館状況	72

はじめに

沖縄県平和祈念資料館は開館以来、沖縄戦の実相・教訓を後世へ正しく伝え、平和を大切にす
る「沖縄のこころ」を世界へ発信し、恒久平和の実現に寄与するために様々な取り組みを行って
います。おかげさまで2017年11月には、700万人の来館者を達成することができました。

常設展示は、沖縄戦に至るまでの経緯及び実相と戦後における住民の戦災復興、平和を希求す
る人々の足跡などを展示していますが、展示をより深く理解してもらうために、県内小中学校・
高等学校及び特別支援学校等の児童・生徒を対象に平和講話を提供しています。平成29年度は、
112回実施しており、資料館での平和講話が児童・生徒の平和学習には重要な存在になっていま
す。

教育普及活動では、学校連携事業として位置づけている「児童・生徒の平和メッセージ展」が27
回を数え、県内小中高等学校及び特別支援学校等の平和学習の一環として定着しつつあります。
平成29年度は、「図画」「作文」「詩」の3部門で総数3,067点の作品応募がありました。「詩」
部門の高等学校の部最優秀作品「誓い～私達のおばあに寄せて」は、「沖縄全戦没者追悼式」に
おいて朗読され、その平和へのメッセージは多くの参加者に感動を与えました。本年度の優秀作
品は、昨年に引き続き県内各地だけでなく、ハワイでも展示され好評を博し、国内外の多くの人
々に「平和の心」を発信しました。

展示活動では、特別企画展「戦世と沖縄芝居一夢に見る沖縄 元姿やしがり」を開催しました。

本企画は、「沖縄芝居」に焦点をあて、戦前の同化政策による方言統制や法律による規制、戦
時下の軍部への協力となる軍事援護劇の上演、そして終戦直後の収容所からの復活と、琉球処分
から現代にいたる沖縄芝居の変遷を近代の歴史と照らし合わせながら紹介する内容とし、戦争が
生命・財産はもとより、先人から継承してきた有形・無形の貴重な文化などのありとあらゆるも
のを破壊し何も生み出さない非人道的で不条理なものであること、アイデンティティの象徴であ
る固有の文化が生きる力となること等を考えていただく機会とすることをねらいとしました。

また、特別企画展と連動して、特別講座「戦世と沖縄文化ー文化財と芝居の視点からー」を開
催しました。

子ども・プロセス展示室では、沖縄戦、復帰、貧困、人権、紛争、国際理解等をテーマとし、
子どもたちの視点にたった企画展を、年間5回実施しました。

今年度の新しい試みとして、当館非常勤職員（博物館学芸員）によるギャラリー展を開催しま
した。「沖縄戦の絵」や「米軍記録写真」など当館資料を活用したミニ企画展ではございました
が、今後も多くの皆様に足を運んで頂けるよう、ギャラリー展を充実させてまいります。

八重山平和祈念館では、特別企画展及び児童・生徒の平和メッセージ展本館移動展のほか、夏
休み企画「ミニパネル展 石垣島の慰霊碑」展、11月企画展「開拓移民の歴史～ふる里を手離
し、ふる里を造った人たち～」展を開催しました。さらに平和学習実践力向上ために学校教員を
対象とした館の見学会も実施しました。

平成29年度の活動内容は以上でございますが、当館及び八重山平和祈念館を「沖縄戦」の実相
を通して世界の平和について考える“場”として益々ご利用、ご活用いただくことを願っていま
す。また、活動状況をまとめたこの冊子も広くご活用いただければと思います。

平成30年6月

沖縄県平和祈念資料館
館長 原田直美

I 概要

1 沿革

[沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972 (昭和47) 年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974 (昭和49) 年に鉄筋コンクリート2階建て (延床面積1,003㎡) の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975 (昭和50) 年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000 (平成12) 年3月31日に閉館。

[沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000 (平成12) 年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

[歴代館長]

外間 盛治	2000 (平成12) 年4月	～	2002 (平成14) 年3月
阿波根 昌安	2002 (平成14) 年4月	～	2003 (平成15) 年3月
島袋 記美子	2003 (平成15) 年4月	～	2005 (平成17) 年3月
川満 茂雄	2005 (平成17) 年4月	～	2007 (平成19) 年3月
宮城 智子	2007 (平成19) 年4月	～	2009 (平成21) 年3月
大川 芳子	2009 (平成21) 年4月	～	2011 (平成23) 年3月
呉屋 禮子	2011 (平成23) 年4月	～	2013 (平成25) 年3月
上與那原美和子	2013 (平成25) 年4月	～	2014 (平成26) 年3月
國仲 功	2014 (平成26) 年4月	～	2016 (平成28) 年3月
原田 直美	2016 (平成28) 年4月	～	

[主な事項]

1993 (平成5) 年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体 (商工美術(株) (株) 沖縄ノムラ) と締結する。
	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994 (平成6) 年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995 (平成7) 年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞team DREAMに決定
1996 (平成8) 年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 展示設計プロポーザル競技により (株) 乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 監修委員会開催
1997 (平成9) 年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) ・資料収集広報キャンペーンを開催 (巡回展、講演会)
1999 (平成11) 年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会 (最終) 開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館 (旧資料館) 閉館

2000(平成12)年度	4月1日	開館(一般公開始まる)
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催:広島市、長崎市 (~27日)
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催(~23日) アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001年(平成13)年	4月25日	入館者50万人達成
2002(平成14)年度	10月18日	入館者100万人達成
2003(平成15)年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始(~12月18日)平成18年度まで
2005(平成17)年度	4月7日	入館者200万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007(平成19)年度	6月21日	ミュージアムショップ開店(運営:沖縄県平和祈念財団)
	7月6日	入館者300万人達成
2008(平成20)年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
2009(平成21)年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業(~2012年3月)
	11月18日	入館者400万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備(英文表記追加)
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え(~3月31日)
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え(~3月19日)
2010(平成22)年度	4月1日	収蔵品等整理業務委託(~H24年3月31日)
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託(~H24年3月31日)
	7月28日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
	2月3日	入館者450万人達成
2011(平成23)年度	10月20日	人数カウンター設置工事開始(~10月30日)
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催
2012(平成24)年度	5月28日	入館者500万人達成
	7月13日	「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」(~H24年3月27日)
	12月1日	沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 (~2015年3月)
2013(平成25)年度	10月29日	入館者550万人達成
	2月12日	キャロライン・ケネディ駐日アメリカ合衆国大使来館

2014 (平成26) 年度	2月7日	入館者600万人達成
2015 (平成27) 年度	10月10日	デービッド・イゲ ハワイ州知事来館
	10月16日	「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 JICA理事長賞受賞
	3月1日	「沖縄のこころ」平和発信強化事業 多言語タブレット等運用開始
2016 (平成28) 年度	6月15日	入館者650万人達成
	7月	沖縄・カンボジア「博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」事業 ※JICA草の根技術協力事業(～2017年6月)
2017 (平成29) 年度	4月19日	李俊揆 (イ ジュンギョ) 駐日大韓民特命全権大使視察
	11月9日	入館者700万人達成
	11月13日	ウィリアム・F・ハガティ駐日アメリカ合衆国大使視察

[主な企画展等、その他催し]

2000(平成12)年度	企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展
2001(平成13)年度	特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会(2回)
2002(平成14)年度	企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2003(平成15)年度	企画展「銃後を護れー戦時下のくらしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2004(平成16)年度	特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2005(平成17)年度	特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2006(平成18)年度	特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2007(平成19)年度	特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世(イクサ)の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)
2008(平成20)年度	特別企画展「カンポーンクェヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展
2009(平成21)年度	特別企画展「イクサユースワラビー戦時下の教育と子どもたちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!!平和創造のうた」、新収蔵品展
2010(平成22)年度	特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」(20回)、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネディスカッション」、「N AHAマラソンの道」～走る道、逃げる道～展、「子ども・未来・メッセージ展」(台湾・沖縄交流事業)

- 2011(平成23)年度 特別企画展『「アメリカ世(ユ-)の沖縄」一逞しくしたたかに生きてきたウチナーンチュ-』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
- 2012(平成24)年度 特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展
- 2013(平成25)年度 特別企画展『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展
- 2014(平成26)年度 特別企画展『南洋の群星が見た理想郷と戦』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「日系二世ウチナーンチュ-が見た戦中・戦後」、「平成26年度子や孫につなぐ平和のウミイ事業成果」報告展、企画展「絵本原画展及びオーサ-ズトーク」「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展、「カンボジア光と影Ⅲ」展
- 2015(平成27)年度 特別企画展『ウチナーンチュ-が見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回) 沖縄戦講座「東アジアの歴史と展望」、沖縄県平和祈念資料館講習会 企画展「戦時中の手紙・手記から見る家族の絆」展、企画展「新収蔵品展(平成25年度・26年度寄贈)」、日本平和博物館会議「戦後70年共同展示」巡回展、沖縄県博物館協会総会・春の研修会、全県高等学校生徒代表者会議
- 2016(平成28)年度 特別企画展『ウチナーンチュ-が見た満洲～『旧満州国』・『偽満州国』～』児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所) 子ども・プロセス企画展(5回)、特別講座「“回想”～遙かなる大地、満洲～」 沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2017(平成29)年度 特別企画展『戦世と沖縄芝居 ～夢に見る沖縄 元姿やししが～』 児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所)、特別講座「戦世と沖縄文化ー文化財と芝居の視点からー」、企画展「新収蔵品展(平成27年度・28年度寄贈)」、新企画展「ギャラリー展」(5回)、 子ども・プロセス企画展(5回) 沖縄県平和祈念資料館講習会、 第24回日本平和博物館会議(当館開催)

2 日誌(抄) 2017(平成29)年度

- 4月4日 平和講話等利用説明会(33校 58名)
- 4月11日 偽満皇宫博物院 院長・研究員2名、見学
- 4月19日 駐日大韓民国特命全権大使、他3名視察
- 5月5日 子どもの日親子ビデオ上映会(136名)
- 5月10日 児童・生徒の平和メッセージ事業委託業者入札会
- 5月11日 県立学校初任者研修会 大会議室(78名)
- 5月26日 沖縄県博物館協会総会・研修会 浦添美術館
- 5月30日 第1回子ども・プロセス企画展(～7月10日)
「戦時下の教育と沖縄戦」 観覧者数 15,995名
- 6月1日 内閣府沖縄振興局参事官視察
- 6月5日 「マブニ・ピース・プロジェクト沖縄2017」開催(～25日)
- 6月9日 第27回児童・生徒の平和メッセージ展入選者発表(本庁)
- 6月15日 H29「戦世の記憶」平和発信強化事業入札会(3社参加)
- 6月17日 第22回糸満市平和祈年祭「平和レクイエム朗読会」祈念ホール
- 6月21日 H29「戦世の記憶」平和発信強化事業委託業者契約

- 6月23日 第27回児童・生徒の平和メッセージ展開催（～7月12日）
開館時間1時間延長（入館者3,619名）
慰霊の日ビデオ上映会（169名）
- 6月25日 第11回千羽鶴引渡し式（主催：千羽鶴未来プロジェクト沖縄会議）
- 7月1日 共催事業「ヒロシマ原爆展」～8月12日
- 7月1日 防衛大臣政務官（宮澤博行衆議員議員）視察
- 7月5日 千葉県佐倉市議会行政視察（2会派15名）
- 7月11日 鳥取県倉吉市議会行政視察（3名）
- 7月12日 児童・生徒の平和メッセージ展開催（八重山平和祈念館～22日）
- 7月18日 地下収蔵庫等燻蒸作業（～19日）
- 7月20日 茨城県議会文教警察委員会視察（22名）
- 7月21日 内閣府審議官視察
沖縄県地域史協議会総会・第1回研修会（沖縄空手会館）
第2回子ども・プロセス企画展「チャレンジ！夏休み自由研究」
（～8月31日）観覧者数 12,055名
夏休み自由研究相談室【情報ライブラリー】（～8月31日）
- 7月23日 夏休み子ども教室【情報ライブラリー】
参加者34名（児童20名、保護者14名）
- 7月29日 OIC s 沖縄国際協力人材育成事業2017派遣高校生事前研修（13名）
- 7月31日 那覇教育事務所教職10年経験者研修（11名）
- 8月2日 児童・生徒の平和メッセージ展開催（イオン名護店～9日）
- 8月3日 幼稚園初任者研修 沖縄県立総合教育センター（47名）
- 8月7日 夏休みこどもウィーク（学芸班）～13日
短編アニメ上映会【平和祈念ホール】（7、9、12日）計306名
親子平和学習ツアー【平和祈念公園内】（11日、13日）計17名
- 8月8日 博物館学芸員実習 沖国大1名（～17日）
- 8月10日 第18回特別企画展委託事業入札（10社参加）
- 8月14日 児童・生徒の平和メッセージ表彰式・開会式（本庁～18日）
- 8月14日 インターンシップ 京都学園大1名（～25日）
- 8月23日 内閣府事務次官ほか2名視察
- 8月24日 沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催（大会議室）
- 9月11日 インターンシップ 琉球大学1名（～15日）
※留学プログラムの一環
- 9月12日 第27回児童・生徒の平和メッセージ展開催（宮古島市会場～22日）
- 9月13日 エルサルバドル政府高官視察研修5名
- 9月14日 第3回子ども・プロセス企画展「沖縄の米軍基地ー歴史と現在ー」
（～11月23日）観覧者数18,213名
- 10月1日 第3回ギャラリー展「第27回児童・生徒の平和メッセージ展
最優秀賞作品展」（～11月30日）
- 10月3日 第54回新採用職員後期研修講話（自治研修所 78名）
- 10月5日 第18回特別企画展
「戦世と沖縄芝居～夢に見る沖縄 元姿やしが～」
（～12月10日）19,487名
- 10月6日 シーサー復元式（館外2基）
- 10月14日 自治大学校第1部第2部特別課程第29期事後研修（24名）
- 10月17日 第55回新採用職員後期研修講話（自治研修所 75名）
- 10月17日 職場体験学習 糸満中学校3年生3名（～19日）
- 10月20日 沖縄県地域史協議会 第2回研修会（金武町）
- 10月24日 インターンシップ 糸満高校1年生2名（～26日）
- 10月28日 臨時休館1日（台風22号襲来）
- 10月29日 特別講座開催延期 ※平成30年1月28日へ
- 11月9日 名桜大学講座「国際学入門」講義 約180名
入館者700万人達成
- 11月10日 「島守の塔」継承事業に係る県新採職員研修

- 11月13日 駐日米国大使（ウィリアム・F・ハガティ氏）視察
 11月14日 兵庫県議会議員行政視察（自民党会派6名）
 11月15日 インターンシップ 豊見城南高校2年生2名（～17日）
 11月18日～19日 臨時休館2日（突発的強風による施設被害及び復旧作業）
 12月1日 第4回ギャラリー展「ファインダー越しの笑顔ー収容所から始
 まった戦後ー」（～1月31日）
 12月4日 第4回子ども・プロセス企画展『『人権』ってなんだろう？』
 （～2月18日）14,087名
 12月7日 第24回日本平和博物館会議（当館事務局）10館21名（～8日）
 12月12日 インターンシップ 久米島高校1名（～14日）
 12月13日 台風対策雨戸撤去
 12月29日～1月3日（休館日）
 1月20日 特別企画展八重山移動展（～2月22日）
 1月25日～27日 次年度特別企画展調査（会場調整）
 1月28日 特別講座「戦世と沖縄文化ー文化財と沖縄芝居の視点からー」
 75名
 2月1日 新収蔵品展開催（～4月10日）
 2月1日 児童・生徒の平和メッセージ展in Hawaii
 第100歩兵大隊クラブハウス（～3月5日）
 2月3日 福島県雪だるま親善大使、さとうきび親善大使見学（17名）
 2月7日 山梨県甲府市議会会派視察（13名）
 2月8日 平成30年度非常勤職員面接（4名）
 2月21日 国立国会図書館実地視察（1名）
 3月1日 第5回子ども・プロセス企画展「世界の子どもたちー国際理解を
 深めようー」（～5月15日）
 3月2日 定期監査
 3月7日 消防防災訓練（当館、財団、祈念堂）
 3月9日 沖縄県平和祈念資料館運営協議会第2回開催（大会議室）
 3月14日 沖縄県平和祈念資料館講習会



沖縄県平和祈念資料館外観

3 施設

(1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

(2) 建設概要

ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808平方メートル

延床面積 10,179平方メートル

ウ 総事業費 約7,291百万円(県債6,510、施設整備基金139、一般642)

工事費 4,900百万円

設計費 155 "

展示工事費 1,535 "

展示設計費 126 "

情報システム 171 "

その他 404 "

エ 主な施設

常設展示室(1～5室) 1,360平方メートル

企画展示室 255 "

子ども・プロセス展示室 518 "

情報ライブラリー 472 "

平和祈念ホール 245 "

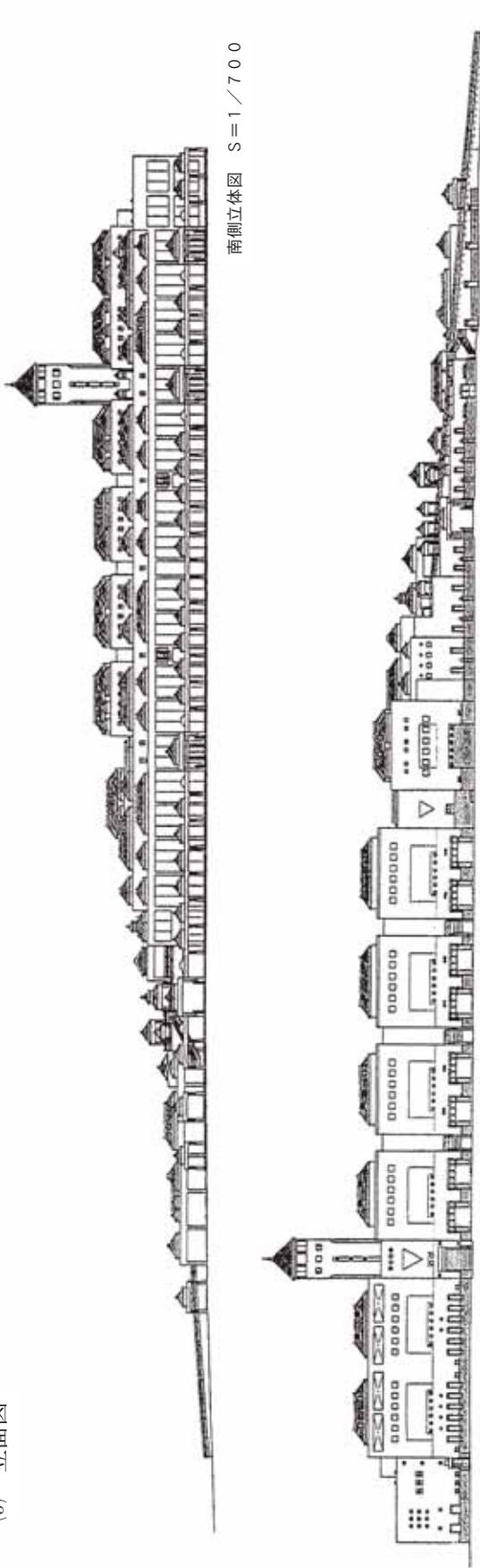
海と礎の回廊 256 "

会議室 200 "

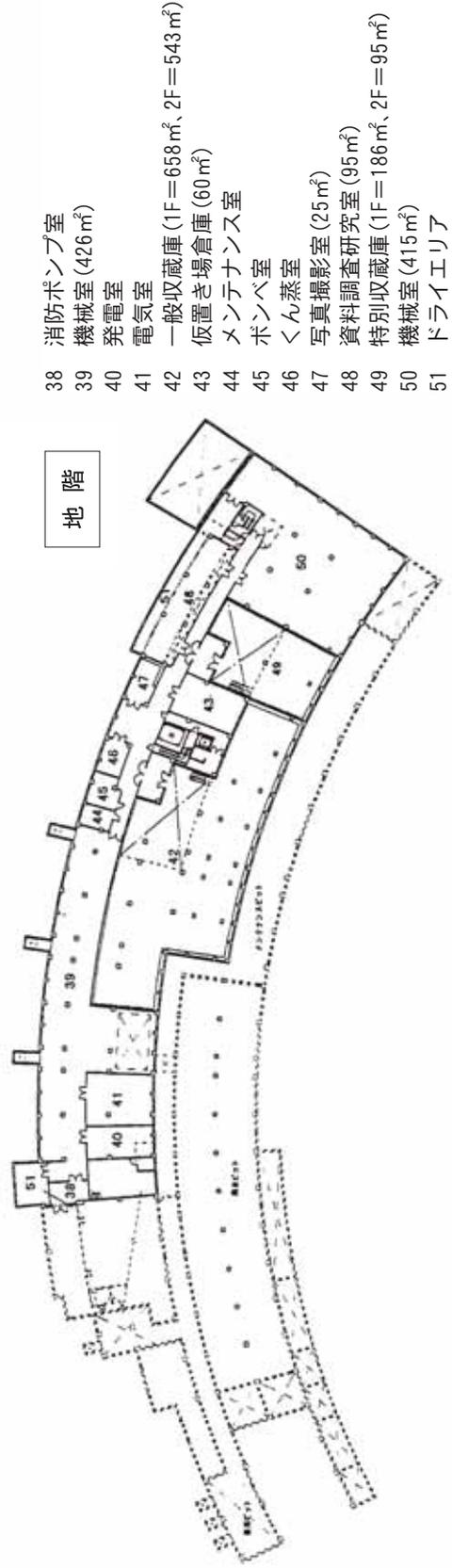
一般収蔵庫 1,201(1F、2F) "

特別収蔵庫 281(1F、2F) "

(3) 立面図



(4) 平面図

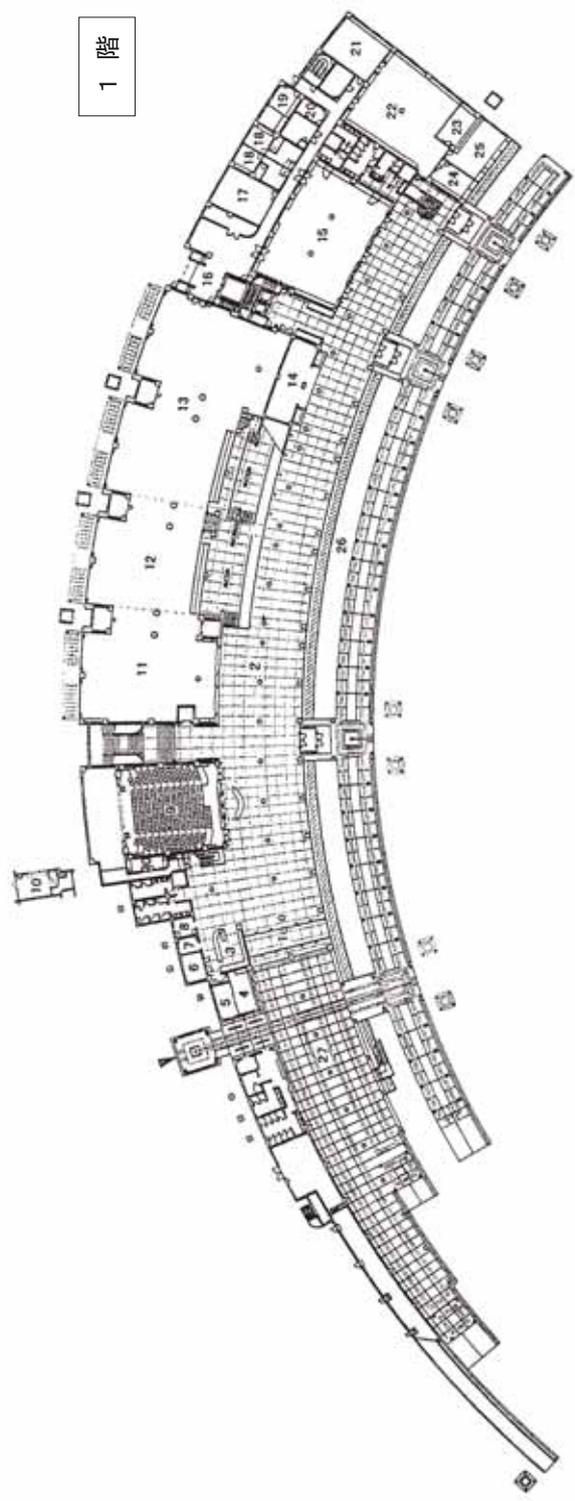


- 1 エントランス
- 2 ホール(1510㎡)
- 3 ミュージアムショップ(28㎡)
- 4 事務室
- 5 ボランティア添乗員室
- 6 授乳・救護室
- 7 TELルーム
- 8 ロッカー・自販機室
- 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
- 10 楽屋・調整室
- 11 子供展示室(285㎡)
- 12 プロセス展示室(233㎡)
- 13 情報ライブラリー(472㎡)
- 14 アルコーブ
- 15 企画展示室(255㎡)
- 16 荷解き室(49㎡)
- 17 情報処理室
- 18 職員休憩室
- 19 守衛室
- 20 給湯室
- 21 事務会議室(52㎡)
- 22 事務学芸員室(158㎡)
- 23 小会議室
- 24 館長室
- 25 応接室
- 26 中庭
- 27 ピロティー

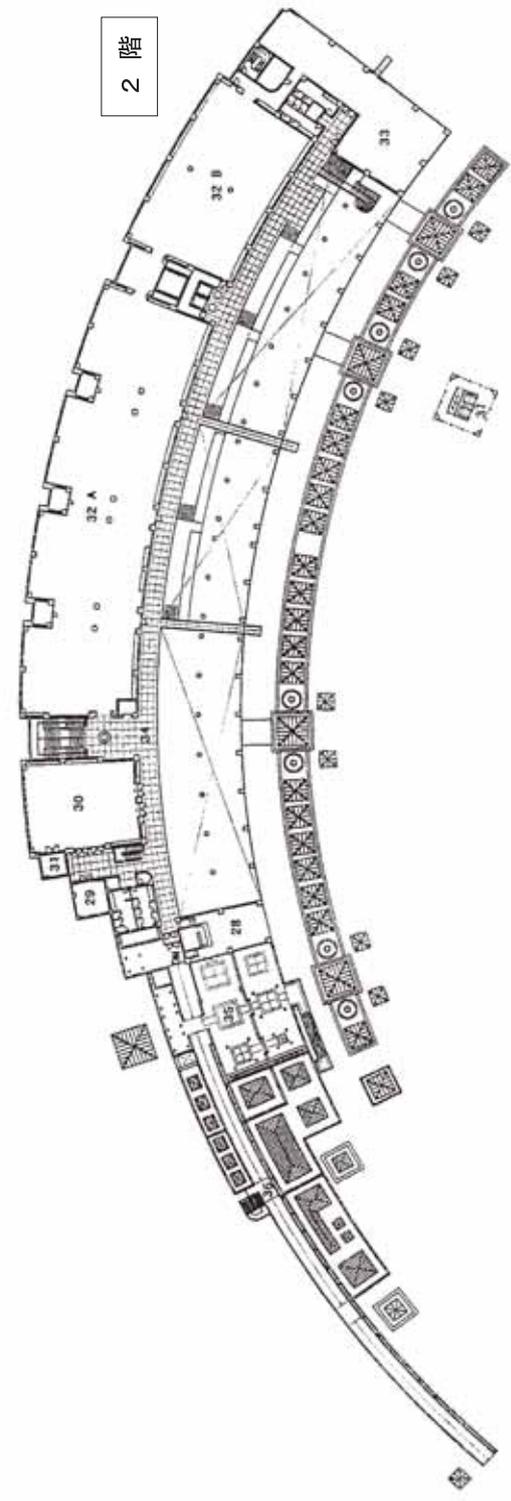
1階 s=1/700

- 28 喫茶室(86㎡)
- 29 事務室
- 30 会議研修室(200㎡・100席)
- 31 調整室
- 32A 常設展示室 1～4 (957㎡)
- 32B 常設展示室 5 (403㎡)
- 33 海と礎の回廊(256㎡)
- 34 ギャラリー(373㎡)
- 35 テラス
- 36 外部スロープ
- 37 展望室

2階 s=1/700



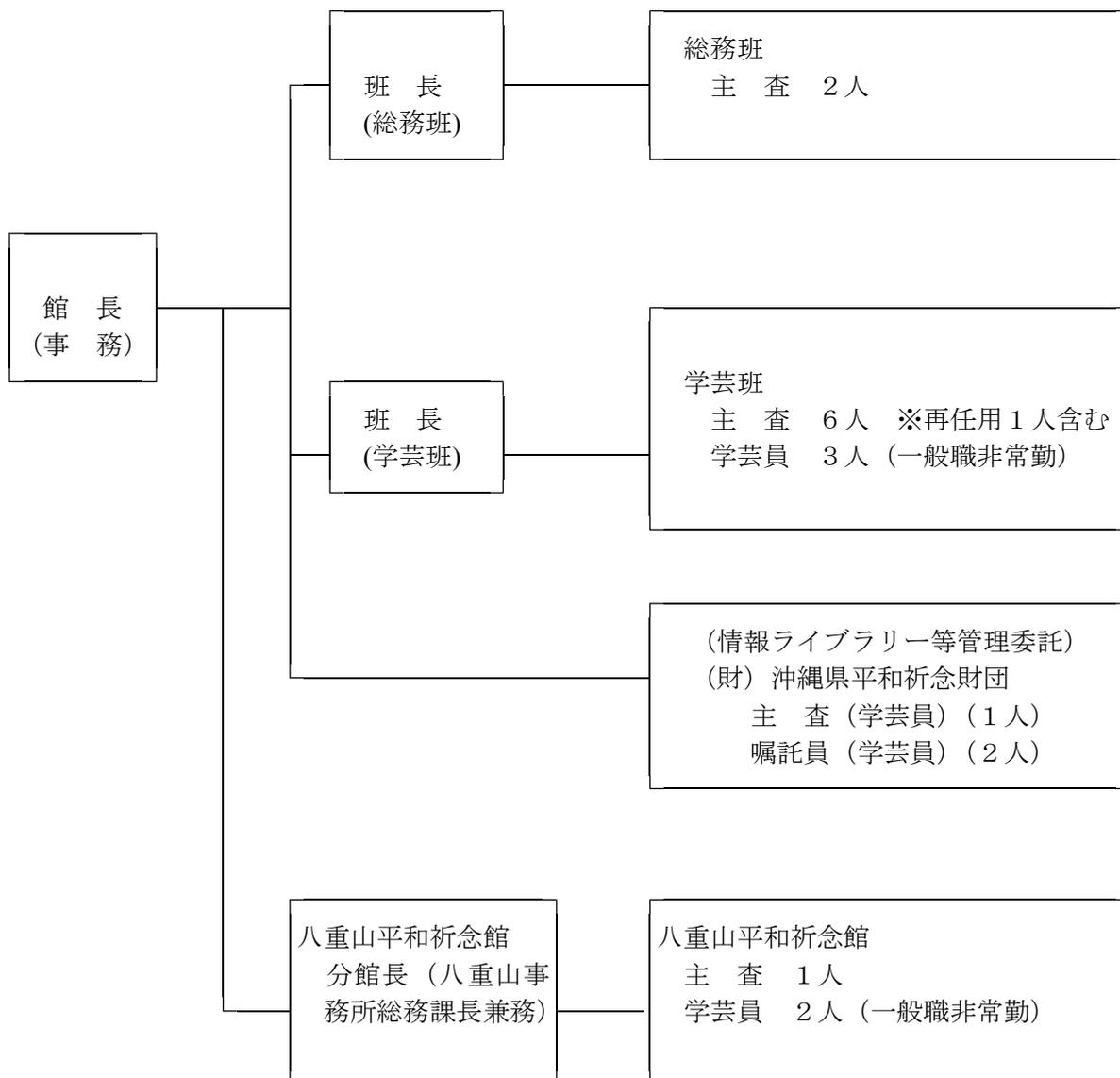
1階



2階

4 組織

(1) 機構（平成29年4月1日現在）



*その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付 (3人)、警備 (2人)、清掃 (2人)、機械設備管理 (1人)

(2) 職員構成（平成29年4月1日現在）

職名	氏名	担当業務
館長	原田 直美	資料館業務の総理に関すること

総務

班長	新垣 浩昭 (出納員)	管理運営に係る将来計画の策定に関する事項 予算、決算、監査の総括に関する事項 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募・会議開催の庶務的事項） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 その他庶務会計に関する事項
主査	平良 理奈	給与の支払、諸手当の認定、任用等服務に関する事項 文書の收受、保管に関する事項 出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項 需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項 旅費、報酬、謝金に関する事項 決算に関する事項 公用車の管理に関する事項 消耗品、切手等の受払に関する事項 雑入に関する事項 共済事務に関する事項 その他庶務会計に関する事項
主査	仲村渠 ゆかり	出納事務に関する事項（日計表の確認含む） 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 団体入館予約、入館者の日報月報等統計業務に関する事項 歳入事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む） 委託料に関する事項 修繕料に関する事項 音声ガイド等音響機器の管理に関する事項 機器のリースに関する事項 備品の執行管理に関する事項 公有財産に関する事項 その他庶務・会計に関する事項

学芸班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
班長 (総括)	古謝 将史	学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項 (主) 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 (主) 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 (主) 運営協議会に関する事項 (委員の選任、運営及び議題) (主) 予算・決算・議会の資料作成に関する事項 (主) 管理運営の将来計画策定に関する事項 (学芸的事項) (主) 要人・議員団・その他研修等案内及び割り振り (主) 公的研修に関する事項 (主) 日本平和博物館会議 (主) 消防防災に関する事項 (副) 「戦世の記憶」平和発信強化事業 (副) 平和講話に関する事項 (共)
主査	福里 竜也	「戦世の記憶」平和発信強化事業 (主) H30「戦世の記憶」事業 成果報告展会場調整 (主) (年度途中) 提案展示会等への対応に関する事項 (主) 国際協力調整に関する事項 (韓国学生受け入れ・平和人権施設及び財団会議韓国留学生) (主) 常設展示室 (第1室) の管理運営に関する事項 (主) 日本平和博物館会議 (副) 沖縄県資料保存利用機関連絡会議 (副) 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 (共) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査	新垣 成美	児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項 (主) 収蔵資料の管理に関する事項 (主) 質問照会の回答担当に関する事項 (主) 常設展示 (子どもプレス展示室) の管理運営に関する事項 (主) 情報ライブラリー活性化など活用促進に関する事項 (主) JICA、国外関係機関等との連携に関する事項 (主) 英語に関する業務 (主) 日本平和博物館会議に関する事項 (副) 「戦世の記憶」平和発信強化事業 (共) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査	渡邊 尚子	特別企画展の企画・立案に関する事項 (主) 特別講座 (シンポジウム) に関する事項 (主) 資料館講習会の企画等に関する事項 (主) 沖縄県地域史協議会に関する事項 (主) 沖縄県資料保存利用機関連絡会議 (主) 常設展示室 (第2・第3室) の管理運営に関する事項 (主) 日本平和博物館会議に関する事項 (共) 「戦世の記憶」平和発信強化事業 (共) 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 (共) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)

主 査	上原 恵二	県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主） 展示物等の撮影許可・著作権申請等に関する事項（主） 友の会活動の支援・推進に関する事項（主） 情報化推進に関する事項（主） 広報に関する業務（主） 常設展示室（第5及び屋外）の管理運営に関する事項（主） 特別企画展の企画・立案に関する事項（副） H30「戦世の記憶」事業 成果報告展会場調整（副） 日本平和博物館会議に関する事項（副） 資料館講習会（副） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主 査	棚原 信	証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主） 寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（新収蔵品展）（主） 夏休み親子平和学習に関する事項（主） キャリア教育に関する事項（主） 沖縄県博物館協会に関する事項（主） 大学との連携模索に関する事項（主） 千羽鶴未来プロジェクト及び千羽鶴の受理に関する事項（主） 常設展示（第4室）の管理に関する事項（主） 児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（副） 収蔵資料の管理に関する事項（副） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 平和講話に関する事項（共） 日本平和博物館会議に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主 査 (短時間勤務)	呉屋 禮子	「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主） 『年報』の発行に関する事項（主） 常設展示室・収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項（主） こどもの日・慰霊の日のアニメ上映会に関する事項（主） 観覧者アンケート統計、分析、月ごとの総括に関する事項（主） 広報に関する業務（副） 日本平和博物館会議に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
非 常 勤 (学芸員)	鈴木 友美 太田 麻砂美 儀間 智美	特別企画展の企画・立案に関する事項（副） 資料・収蔵品の整理・展示等学芸業務の補助に関する事項 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 HPの作成に関する事項 館内事業案内掲示など広報等に関する事項 その他上司の命に関する事項

委 託

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平田 守	施設の設備の管理 施設の図書資料等の管理 企画展の開催 沖縄戦に関するレファレンス業務 資料館が企画する講演会・講習会等の講師 施設の利用促進
嘱 託 員	仲村 美奈子	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項
	平良 綾乃	

八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	比屋根 勉	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること。
主 査	川上 剛司	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項
非 常 勤	宮良 晴美 久高 百合子	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項 観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項

(3) 人事異動（平成29年4月1日現在）

沖縄県平和祈念資料館

異 動	職 名	氏 名	摘 要
転 入	班 長 主 査 主 査 主 査 非 常 勤	新垣 浩昭 平良 理奈 上原 惠二 棚原 信 儀間 智美 太田 麻砂美	管財課から 沖縄県企業局から 南城市立馬天小学校から 浦添市立港川小学校から 採用 採用
転 出	班 長 班 長 主 査 主 査 非 常 勤 非 常 勤	真志喜 健 新垣 誠 棚原 盛健 宮里 満男 渡名喜 琴音 前田 史緒里	都市モノレール建設事務所へ 糸満市立喜屋武小学校へ 統計課へ 那覇市立真嘉比小学校へ 退職 退職

八重山平和祈念館

異 動	職 名	氏 名	摘 要
転 入	分 館 長	比屋根 勉	住宅課から
転 出	分 館 長	名城 政広	国民健康保険課へ

5 平成29年度 歳入歳出決算（本館及び分館）

歳 入

単位：円

	常設展示室	ホール、会議室等使用料	ミュージアムショップ等	「戦世の記憶」平和発信強化事業（沖縄振興特別推進交付金）	寄附金	不用品売払代	合計
資料館 観覧料	52,742,670	0	0	0	0	0	52,742,670
本館	52,504,780						52,504,780
分館	237,890						237,890
資料館 使用料	0	1,029,570	0	0	0	0	1,029,570
本館		1,029,170					1,029,170
分館		400					400
建物 使用料	0	0	233,399	0	0	0	233,399
本館			233,399				233,399
分館							0
建物貸付料（本館）			378,216				378,216
寄附金							0
雑入（本館）			673,972				673,972
戦世の記憶平和発信強化事業（本館）				17,712,000			17,712,000
不用品売払代（本館）						50,000	50,000
合 計	52,742,670	1,029,570	1,285,587	17,712,000	0	50,000	72,819,827
本館	52,504,780	1,029,170	1,285,587	17,712,000	0	50,000	72,581,537
分館	237,890	400	0	0	0	0	238,290

歳 出

単位：円

科 目	管理運営 事	展 示 活 動 事	戦世の記憶平和 発信強化事業			合 計
報 酬	213,900	8,808,960	0			9,022,860
本館	213,900	5,624,640				5,838,540
分館		3,184,320				3,184,320
共 済 費						0
賃 金						0
報 償 費	17,000					17,000
旅 費	81,370	1,304,878	0			1,386,248
本館	60,910	1,264,728				1,325,638
分館	20,460	40,150				60,610
需 用 費	33,394,792	657,194	0			34,051,986
本館	31,790,972	648,963				32,439,935
分館	1,603,820	8,231				1,612,051
役 務 費	2,530,089	0	0			2,530,089
本館	2,436,733	0				2,436,733
分館	93,356	0				93,356
委 託 料	52,616,528	17,586,018	22,140,000			92,342,546
本館	51,335,000	17,586,018	22,140,000			91,061,018
分館	1,281,528	0				1,281,528
使用料及び賃借料	6,817,271	23,088	0			6,840,359
本館	6,041,191	23,088				6,064,279
分館	776,080	0				776,080
工事請負費						0
備品購入費	156,600					156,600
負担金補助及び交付金	10,000					10,000
公 課 費	0					0
合 計	95,837,550	28,380,138	22,140,000			146,357,688
本館	92,062,306	25,147,437	22,140,000			139,349,743
分館	3,775,244	3,232,701	0			7,007,945

6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員及び八重山平和祈念館部会委員名簿

(任期：平成29年5月19日～平成31年5月18日)

区 分	役職名	氏 名	現 職 名
教育関係者	会 長	安 田 國 重	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
学識経験者	副会長	當 眞 嗣 一	沖縄考古学会長
	委 員	大 城 将 保	新沖縄県史編集委員
	委 員	平 良 次 子	南風原文化センター学芸班長
	委 員	古 賀 徳 子	ひめゆり平和祈念資料館学芸課長代理
	委 員	青 山 恵 昭	美術家(画家及びグラフィックデザイナー)
	委 員	安 里 進	沖縄県立芸術大学附属研究所客員研究員
	委 員	安 里 英 子	沖縄大学非常勤講師
教育関係者	委 員	宮 城 明	大育高等専修学校非常勤講師
	委 員	船 附 初 江	社会福祉法人理事長(保育園園長)
行政経験者	委 員	大 川 芳 子	元沖縄県平和祈念資料館館長
公 募	委 員	翁 長 江 美	那覇市教育委員会教育相談支援員

(2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職 名	氏 名	現 職 名
学識関係者	部会長	當 眞 嗣 一	沖縄考古学会長
	委 員	安 里 英 子	沖縄大学非常勤講師
	委 員	翁 長 江 美	那覇市教育委員会教育相談支援員

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

■平成29年度第1回運営協議会

日時：平成29年8月24日（木）13:00～15:30 場所：平和祈念資料館 2階 大会議室

内容：(1)役員等の選出

(2)議 題

- ①学芸員の配置について
- ②平成28年度事業報告（本館）について
- ③平成29年度事業経過報告・事業計画（本館）について
- ④平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画（分館）について

(3)その他

常設展示室等の視察（希望者）

■平成29年度第2回運営協議会

日時：平成30年3月9日（金）13:00～15:00 場所：平和祈念資料館 2階 大会議室

内容：(1)議 題

- ①平成29年度事業実施報告（本館）について
- ②平成30年度事業計画（案）（本館）について

(2)報 告

平成29年度事業実施報告及び平成30年度事業計画（案）（分館）について

II 調査研究事業

1 特別企画展のための調査研究

[目的]

平成29年度第18回特別企画展「戦世と沖縄芝居 一夢に見る沖縄 元姿やしがり」の充実を図るために調査研究を行った。

[調査方法]

- (1) 聞き取り調査
- (2) 関連資料館、博物館、図書館等の収蔵資料調査
- (3) 個人収蔵資料調査
- (4) 当館収蔵資料調査

[内容]

今回の特別企画展は、戦前から戦後にかけての沖縄芝居の変遷を当時の同化政策や文化統制と照らし合わせながら紹介するという構成であったため、まず当時の様子を知る方々の証言を収集し、その体験談を裏付ける時代背景や行政の施策を当時の新聞や布令集などの資料にて確認する作業を行った。並行して実物資料の所在を調査し、当館所蔵資料をはじめ、県内博物館等の関連施設や沖縄芝居関係者へ協力をいただき、資料の由来や状態を確認した。また、芸能や歴史に関する有識者から助言をいただき、資料の展示や表現方法の参考にした。

[調査資料館等]

国立劇場おきなわ、琉球大学、琉球大学付属図書館、沖縄県立芸術大学、沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立図書館、沖縄県公文書館、沖縄県教育委員会、那覇市歴史博物館、那覇市立図書館、宜野湾市立博物館、南風原文化センター、うるま市立石川歴史民俗資料館、うるま市立城前小学校、RBC琉球放送、琉球新報、社会福祉法人ふくぎ会ケアハウスふくぎ苑 その他

[調査文献]

- 『沖縄縣史 第6巻各論編5 文化2』沖縄県教育委員会 1975年
『沖縄県史 各論編 第六巻 沖縄戦』沖縄県教育委員会 2017年
『那覇市史 資料篇第2巻中の6』那覇市史編集室 1974年
『宜野湾市史 八 資料篇七 戦後資料篇I』宜野湾市教育委員会 2008年
『那覇百年のあゆみ』那覇市史編集室 1979年
『資料に見る沖縄の歴史 日本復帰30周年記念特別展』沖縄県 2002年
『甦る沖縄 一戦災文化財と戦後生活資料展一』沖縄県立博物館 1995年
『平成28年度 第2回企画展 沖縄芝居一史劇一』国立劇場おきなわ 2016年
『いしかわ 市制45周年記念』石川市 1990年 その他



聞き取り調査の様子



資料調査の様子

2 第24回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え、平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究を行うことにより、相互の連携を図りつつ、平和推進事業の一層の発展を期することを目的として、1994年に設立された。年1回の定例会開催のほか、研修や共同事業を行っている。

平成29年度は、当館を事務局として開催した。

- (1) 期 間 平成29年12月7日(木)～12月8日(金)
- (2) 開催場所 沖縄県平和祈念資料館(糸満市摩文仁)
- (3) 参加博物館
 - ①埼玉県平和資料館(埼玉県)、②川崎市平和館(神奈川県)
 - ③立命館大学国際平和ミュージアム(京都府)、④ピースおおさか(大阪府)
 - ⑤広島平和記念資料館(広島県)、⑥長崎原爆資料館(長崎県)、⑦沖縄県平和祈念資料館(沖縄県)
 - ⑧神奈川県立地球市民かながわプラザ(神奈川県)、⑨ひめゆり平和祈念資料館(沖縄県)
 - ⑩対馬丸記念館(沖縄県) ※オブザーバー参加 南風原町立南風原文化センター(沖縄県)

(4) 日 程

【 12月7日(木) 】

① 定例会

協議題1 「ピースツーリズムについて」

協議題2 「核兵器禁止条約に関する日本平和博物館としてのスタンスについて」

協議題3 「戦後72年現在の“戦争からさらに遠くなった世代”の来館者への対応について」

協議題4 「国内外の平和博物館以外の博物館・美術館との連携、海外関係機関や施設との交流について」

確 認 「加盟館ホームページ相互リンクについて」

② 研修フィールドワーク 沖縄県平和祈念公園内 戦跡・慰霊碑見学



定例会(大会議室にて)



研修フィールドワーク 戦跡・慰霊碑見学

【 12月8日(金) 】

① 視察 対馬丸記念館(那覇市若狭1-25-37)

② 視察 不屈館(那覇市若狭2丁目21-5)



視察 対馬丸記念館



視察 不屈館

Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦－鉄の暴風－」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦－地獄の戦場－」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ(自然の鍾乳洞)とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦－証言－」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海

外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。

〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校の様子、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

「わらびな一(庭)」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための情報ライブラリーが設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

(2) 展示資料等の充実

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器（LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー）とコントローラー、映像ディスク（LDディスクからDVDディスクへ）を刷新した。
 - ②常設展示室2Fの第1室と第5室の年表パネルを刷新した。
 - ③常設展示室第1室、第2室の展示ケース照明のLED化。企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。（平成22年度）
 - ④常設展示室、子どもプロセス展示室、情報ライブラリー、大会議室、事務室の照明装置をLED照明に刷新した。（平成26年度）
 - ⑤常設展示室2Fの第2室の大型スクリーンを刷新した。（平成27年度）
 - ⑥タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化（日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語）を進めた。（平成27年度）
- 常設展示室音声ガイダンス機器50台を新規導入。音声データをフランス語、イ

タリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語、英語、中国語、韓国語、スペイン語に翻訳した。(平成27年度)

⑦デジタルサイネージシステムの導入。(平成27年度)

⑧第4室証言文のラミネート加工の修繕(平成29年度)

⑨常設展示室(第1室から第5室)の拭き取り清掃を実施した。(平成29年度)

2 企画展

(1) 第18回特別企画展

「戦世と沖縄芝居 ―夢に見る沖縄 元姿やしがり―」

①開催場所・開催期間

沖縄県平和祈念資料館 企画展示室 平成29年10月5日(木)～12月10日(日)
八重山平和祈念館 第2展示室 平成30年1月20日(土)～2月22日(木)

②趣旨

平成29年度の特別企画展は、「戦世と沖縄芝居」を主題に置き、戦前沖縄で実施された同化政策や言論統制、そして戦時中の文化への統制など、近代沖縄の歴史と照らし合わせながら紹介した。

沖縄は芸能の宝庫といわれるが、特に組踊をはじめとする琉球芸能は琉球王国時代までは、いわゆる宮廷舞楽であり、王族や士族など一部の人のみはその美しさを享受してきた。やがて、明治期に入り、廃藩置県がおこなわれ、琉球王国が解体すると、これら宮廷舞楽が一部の上層階級のものから、世間一般へ広く受け入れられるようになり、やがて庶民のニーズを反映させた沖縄芝居という新たな芸能を生み出した。このように世替わりを経験し、大きな歴史的転換点で生まれた沖縄芝居は、その後も時代の荒波にもまれ、自由な表現活動はおろか、さまざまな政治的規制や批判を受け、戦時体制下になると、軍部への協力が求められるなど、大きく時代の波に翻弄されることになる。

今回の展示会では全体を4つの小テーマに分けて構成し、沖縄芝居の成立と庶民の受容、日本への同化が叫ばれる中で行われたマスコミや知識層による沖縄芝居への批判、戦時体制下における沖縄芝居の受難と変容、凄絶な沖縄戦を経て、疲れ果てた民衆を芝居や芸能で元気づけた収容所からの復活など、時代や世相に影響されながらも現代まで逞しく生き続けた沖縄芝居を写真や資料、証言等を用いて紹介した。

展示会を通して、精神活動のひとつである表現することの自由、そして言葉や文化などのアイデンティティの尊重が平和な社会構築に繋がっていくということを再認識する機会となれど考える。

③展示の構成

第Ⅰ部 沖縄芝居のはじまり

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1 沖縄芝居の誕生 | 2 日清・日露戦争と沖縄芝居 | 3 近代沖縄女性と沖縄芝居 |
|-----------|----------------|---------------|

第Ⅱ部 沖縄芝居の受難

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 法による規制 | 2 新聞による沖縄芝居への批判 |
|----------|-----------------|

第Ⅲ部 戦世と沖縄芝居

- | | |
|----------|-------------|
| 1 戦時下の沖縄 | 2 灰燼に帰す沖縄芝居 |
|----------|-------------|

第Ⅳ部 戦後の復活といま

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1 沖縄芸能の復活 | 2 次世代へ受け継がれる「沖縄のころ」 |
|-----------|---------------------|

④観覧者数



開会式の様子



観覧の様子

(2) 子ども・プロセス企画展

第1回「戦時下の教育と沖縄戦」

戦時中の日本が、国民を戦争に総動員するために、子どもたちにどのような教育をしたのかを当時の教科書などの資料を通して紹介する。また、軍国主義教育の結果として、多数の子どもたちが犠牲となった沖縄戦についても展示する。

[期間] 平成29年5月30日(火)～7月10日(月)

[内容]

- ①日中戦争・太平洋戦争の概要
- ②戦時下の教育
・教育勅語と国民学校 ・戦争と教科書
- ③沖縄戦と子どもたち
- ④戦後の教育

[観覧者数] 15,995名



第2回「チャレンジ！ 夏休み自由研究 -沖縄戦について調べてみよう-」

夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行う。

[期間] 平成29年7月21日(金)～8月31日(木)

[内容]

- ①自由研究の進め方やテーマ選びのヒント
- ②研究テーマの紹介・解説
・沖縄戦の概要 ・住民の避難生活 ・住民の戦場動員
・沖縄戦の被害 ・戦時下の教育 ・不発弾 ・平和の礎
- ③自由研究のまとめ方(研究ノートや新聞)を紹介

[観覧者数] 12,055名



第3回「沖縄の米軍基地 -歴史と現在-」

沖縄に多くの米軍基地がつくられた歴史について展示する。県内外の児童生徒が、沖縄県の基地問題の現状と課題について考える機会とする。

[期間] 平成29年9月14日(木)～11月23日(木)

[内容]

- ①墜落事故の恐怖
- ②米軍基地の歴史と事件・事故
- ③沖縄の米軍基地
- ④米軍基地 Q&A



⑤平和な沖縄をめざして

[観覧者数] 18,213名

第4回『人権』ってなんだろう？

人権を尊重し守ることを誓った『世界人権宣言』と『日本国憲法』について紹介し、人権が私たち一人ひとりに直接かかわるとても大事なものであることを展示する。児童生徒が人権の大切さについて学び、人権尊重のこころを育む機会とする。

[期間] 平成29年12月4日(月)～平成30年2月18日(日)

[内容]

- ①『人権』ってなんだろう？
- ②戦時下の人権(80年前の日本では)
- ③世界人権宣言(1条～30条)
- ④日本国憲法と基本的人権

[観覧者数] 14,087名



第5回「世界の子どもたち -国際理解を深めよう-」

子ども・プロセス展示室の「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナーに関連する18か国の資料を中心に展示する。世界には多くの国々と多様な文化があることを学び、日本と違うことや似ていることなどを感じ取ってもらおう。

[期間] 平成30年3月1日(木)～5月15日(火)

[内容]

- ①世界を知ろう(人種、言語、宗教、時間、人口など)
- ②世界の国ぐに
ロシア、カナダ、アメリカ、スウェーデン、ペルー
ボリビア、パラオ、フィリピン、ベトナム、韓国
中国、ブータン、インド、パキスタン、ザンビア
南アフリカ、スイス、ドイツ
- ③世界いろいろ(GDP、HDI、GNH、平均寿命など)



(3) 新収蔵品展(平成27・28年度) ―モノからつなぐ記憶―

本展示会では、平成27年度から平成28年度にかけてご寄贈頂いた147点の資料を戦前・戦中・戦後に分けて公開しています。

本展示会を通して、新たな収蔵資料を県民財産として公開するとともに、資料に託された記憶を感じ取って頂き、沖縄戦及び戦前から戦後の歴史に対する理解を深め、次世代につなげて行く場になればと思います。

〔期間〕 平成30年2月1日(木)
～平成30年4月10日(火)

〔場所〕 1階企画展示室



(4) 平成 29 年度ギャラリー展

今年度から二階ギャラリー展示場の活性化を図るとともに、学芸班非常勤職員による初めての自主企画として年 5 回のギャラリー展を開催した。

ギャラリー展では、国内の来館者のみならず、増加傾向にある外国からの来館者にも展示内容を理解してもらえる様に解説文を多言語化した事で多くの人々が平和について理解を深めることができ、当館にとっても大変意義のある企画展となった。

○第 1 回「72 年前の子ども達が見た沖縄戦」

当館が所蔵する「沖縄戦の絵」の中から沖縄戦当時 18 歳以下の子どもだった体験者の絵に焦点をあて、72 年前の子ども達が見た戦場や収容所内の様子を描いた絵を展示した。当時の子ども達の記憶を通して改めて戦争の悲惨さや命や家族の大切さ、そして平和の尊さについて、今を生きる子どもたちに考え、感じてもらう場とした。

[期間] 平成 29 年 6 月 1 日 (水) ~ 7 月 31 日 (月)



○第 2 回「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」

今年度の児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品の展示会(巡回展)に合わせて、過去の最優秀賞作品を再展示し同時期開催のメッセージ展県内巡回展の告知とともに、過去の優秀作品の貸し出しについて広く周知し、活用してもらう場とした。

[期間] 平成 29 年 8 月 1 日 (火) ~ 9 月 29 日 (金)



○第 3 回「第 27 回児童・生徒の平和メッセージ展 最優秀賞作品展」

6 月から当館を皮切りに県内各地で開催された「第 27 回児童・生徒の平和メッセージ展」を好評につきギャラリー展にて再展示し、沖縄の児童生徒が発信する平和のメッセージを県内外の多くの来館者に届ける場とした。

[期間] 平成 29 年 10 月 1 日 (日) ~ 11 月 30 日 (木)



○第4回「ファインダー越しの笑顔～収容所から始まった戦後～」

72年前、激烈な地上戦を生き抜いた人々は不安と希望を抱きながら、設備も食糧も十分ではない収容所から戦後をスタートさせ、今に至るまで歴史を繋げてきた。そこで、当館所蔵の「米軍記録写真」の中から収容所での人々の様子を捉えた写真を展示し、戦場から収容所へ収容された恐怖・不安・安堵・希望といった様々な感情を写真に写る人々の表情から感じ、今に続く戦後の始まりを顧みる場とした。

【期間】 平成29年12月1日（金）～平成30年1月31日（水）



○第5回「平和のメッセージで繋ぐ『戦世の記憶』、

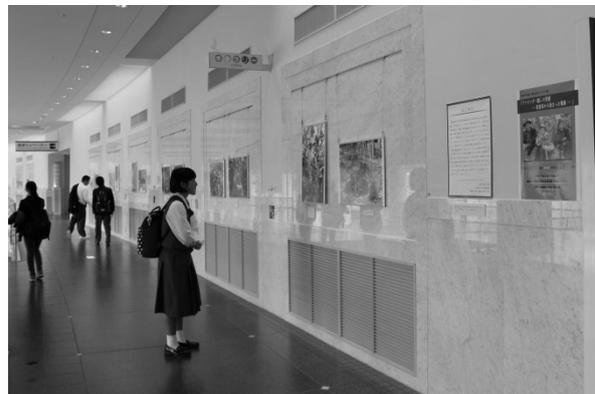
紡ぐ『平和のウミイ』—沖縄全戦没者追悼式当館推薦作品展—

6月の沖縄全戦没者追悼式にて当館より推薦され、追悼式パンフレットにて紹介された「児童・生徒のメッセージ」作品を展示し、未来を拓く主役である子どもたちが、「戦世の記憶」をどのように捉え、平和への想い「平和のウミイ」をどのように紡いでいるのか感じてもらう場とした。

【期間】 平成30年3月1日（木）～6月6日（水）



ギャラリー展の様子



IV 収集資料・活用事業

1 新収蔵品目録（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

実物資料

個人（8名）、団体（0名）から8件で62点の資料寄贈があった。

NO	寄贈日	資料名	数量	寄贈者
1	H29. 4.10	アルミ製水筒 薬莢 ガスマスク缶・チューブ ベルトのバックル 柏木体温計 銃口蓋	7	山下 智文
2	H29. 4.19	米軍の輸血・点滴用薬品瓶、その他	8	仲村 真
3	H29. 4.21	日の丸寄せ書き	1	新崎 康夫
4	H29. 6.11	軍服 腰巻(千人針) チョッキ	4	仲宗根 保
5	H30. 2. 5	南洋廳尋常高等小学校の賞状等	14	藤田 ゆうこ
6	H30. 1.12	日本国パスポート等	4	本庄 美佐子
7	H30. 2.17	米軍発行運転免許証等	15	辺土名 朝久
8	H30. 2.28	薬品瓶、シャベル、拳銃カートリッジ等	9	仲村 真

2 資料貸出実績

(1) 資料の貸出

平成29年度は、県内外あわせて計（68）件、（622）点の貸出を行った。

県内 38件 （295）点

NO	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	沖縄県立南部農林高等学校	平和学習キットA・C	2	6/9～6/22
		ウムイ地域版セット（那覇南部）	1	
		沖縄戦写真パネル	4	
2	浦添市立浦添小学校	平和学習キットA・B	2	6/6～6/16
3	豊見城市立とよみ小学校	平和学習キットA・C 沖縄戦の絵複製パネル	2 12	6/4～6/19
4	那覇市立古蔵小学校	平和学習キットA・B	2	6/5～6/17
5	那覇市立小禄小学校	児童・生徒の平和メッセージ展作品 図画(4)・作文(2)・詩(2)	8	4/21～5/8
6	那覇市立城北中学校	沖縄戦実物資料	16	6/18～7/2
		平和学習キットA・B	2	
7	沖縄県立美里工業高等学校	平和学習キットA・B	2	6/18～7/2
		沖縄戦実物資料	5	
		沖縄戦写真パネル	4	
8	那覇市立古蔵小学校	平和学習キットC	1	6/18～6/28
9	沖縄県立豊見城高等学校	平和学習キットA	1	6/21～7/5
10	糸満市立潮平小学校	平和学習キットB・C	2	4/24～5/7
11	那覇市立真地小学校	平和学習キットA・C	2	5/14～5/27
		ウムイ地域版セット（那覇南部）	1	
13	沖縄県立向陽高等学校	沖縄戦実物資料	6	6/8～6/27
14	沖縄県立首里東高等学校	沖縄戦実物資料	20	6/12～6/16
15	久米島博物館	ウムイ地域版セット(久米島地区)	1	6/10～6/24
16	沖縄県立美咲特別支援学校	平和学習キットD	1	6/10～6/23
		沖縄戦写真パネル	20	
17	那覇市首里公民館	沖縄戦写真パネル	12	5/30～6/27
		沖縄戦の絵複製パネル	2	
18	恩納村史編さん委員会	沖縄戦写真パネル	1	6/1～7/1

19	沖縄県立豊見城高等学校	沖縄戦の絵複製パネル 児童・生徒の平和メッセージ展作品	12 1	6/1～6/30
20	沖縄県立南部商業高等学校	平和学習キットB	1	6/5～6/16
21	浦添市立仲西中学校	沖縄戦実物資料 沖縄戦の絵複製パネル	6 10	5/23～6/24
22	対馬丸記念館	「アジア太平洋戦争の動き」地図	1	資料貸出継続申請
23	金武町立嘉芸小学校	沖縄戦写真パネル	7	6/3～7/1
24	名護市立屋我地ひるぎ学園	沖縄戦実物資料 児童・生徒の平和メッセージ展作品	4 6	6/1～6/17
25	沖縄県立知念高等学校	沖縄戦実物資料	1	6/12～6/26
26	浦添市立港川小学校	沖縄戦の絵複製パネル	6	6/1～7/1
27	与那国町立比川小学校	ウムイ地域版セット(石垣島地区)	1	6/5～6/16
28	宜野湾市赤道老人福祉センター	沖縄戦写真パネル	9	6/14～6/22
29	豊見城市立伊良波小学校	沖縄戦実物資料	3	6/1～6/16
30	糸満市立糸満南小学校	沖縄戦写真パネル 沖縄戦の絵複製パネル	9 4	6/4～6/25
31	竹富町立船浦中学校	沖縄戦の絵複製パネル	10	6/9～6/23
32	沖縄県立伊良部高等学校	ウムイ地域版セット(宮古地区)	1	6/14～6/28
33	沖縄県立那覇国際高等学校	平和学習キットA・B	2	6/17～7/1
34	那覇市立真嘉比小学校	沖縄戦実物資料	3	6/21～6/25
35	糸満市観光協会	平和学習キットA・B	2	8/1～8/15
36	宜野湾市立普天間小学校	平和学習キットA・B 沖縄戦実物資料	2 7	11/21～11/29
37	与那原町立与那原小学校	沖縄戦実物資料(複製)	13	11/20～12/9
38	那覇市立石嶺小学校	沖縄戦実物資料 沖縄戦の絵複製パネル 平和学習キット	42	h30 1/26～2/8

県外 30件 (327) 点

NO	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	港区総務部男女平等参画課	沖縄戦実物資料	20	7/24～8/18
2	埼玉県入間市人権推進課	沖縄戦実物資料 沖縄戦写真パネル ウムイ地域版(北部地区)	10 10 1	7/29～8/12
3	茨城県 那珂市役所	沖縄戦写真パネル	20	7/28～8/29
4	四條畷市役所人事政策課	平和学習キットA	1	7/24～8/1
5	京都府 城陽市役所	沖縄戦写真パネル	20	7/5～7/24
6	戦争体験放映保存の会	沖縄戦実物資料	5	6/20～6/27
7	埼玉県 嵐山町役場	平和学習キットB・C	2	8/23～9/27
8	大阪府羽曳野市立文化センター	平和学習キットA 沖縄戦実物資料	1 8	8/15～8/23
9	NPO 笑和	沖縄戦の絵複製パネル	20	8/3～8/15
10	連合秋田	沖縄戦の絵複製パネル 沖縄戦写真パネル	5 15	7/24～8/4
11	長野市立長野高等学校	平和学習キットC	1	6/28～7/3
12	豊中市立中央公民館	沖縄戦の絵複製パネル	20	8/5～8/25
13	三条市 平和について考える会	平和学習キットB・C	2	7/28～8/10
14	大阪府茨木市立平田中学校	平和学習キットB・C 沖縄戦の絵複製パネル	2 20	9/11～9/20
15	東京北法律事務所	平和学習キットB・C	2	8/24～8/31
16	まぼろば平和音楽祭実行委員会	沖縄戦写真パネル	18	9/1～9/3

17	日向 HuRP	平和学習キット A・C	2	8/16 ~ 8/29
18	檜原市立金橋小学校	沖縄戦実物資料 沖縄戦写真パネル 沖縄戦の絵複製パネル	9 8 6	9/1 ~ 9/12
19	新潟県立十日町高等学校	平和学習キット C	1	9/5 ~ 9/19
20	奈良市立富雄南小学校	平和学習キット B・C	2	10/3 ~ 10/17
21	盈進中学校	平和学習キット B・C	2	9/25 ~ 10/6
22	静岡県立松崎高等学校	平和学習キット A・B 沖縄戦実物資料	2 12	10/5 ~ 10/11
23	愛知県立豊明高等学校	沖縄戦実物資料 沖縄戦写真パネル	12 8	10/21 ~ 10/31
24	二松學舎大学附属高等学校	沖縄戦実物資料 平和学習キット B・C	5 2	10/7 ~ 10/21
25	千葉県佐倉市役所企画制作部広報課	沖縄戦写真パネル	20	H30. 1/15 ~ 1/26
26	新宿・平和のための戦争展実行委員会	平和学習キット B・C	2	H30. 3/16 ~ 3/28
27	岡山市立灘崎中学校	平和学習キット B・C	2	H30. 2/14 ~ 2/27
28	殿馬場中学校	平和学習キット A	2	H30. 3/1 ~ 3/15
29	立命館大学国際平和ミュージアム	沖縄戦実物資料	17	H30. 4/1 ~ H31.3/31
30	埼玉県県民生活部広聴広報課	沖縄戦実物資料	10	H30. 4/1 ~ H31.3/31

国外 1件 (30点)

NO	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	Nisei Veterans Memorial Center on Maui(マウイ日系二世退役軍人センター)	沖縄戦の絵 児童・生徒の平和メッセージ展作品	15 15	H29.9/23(マウイオキナワフェスティバル)

当館では、以下の資料を貸出しています。

沖縄戦写真パネル(201点)、沖縄戦実物資料(20種類)、子や孫につなぐ平和のウミ地域版セット
児童・生徒の平和メッセージ展入選作品パネル(図画・作文・詩)、世界人権宣言絵画パネル一式
沖縄戦の絵複製パネル(52点)、平和学習キット(4種類)

(2) 証言映像の貸出

平成29年度貸出実績 21件 69本 (県内12件43本、県外9件26本)

戦争体験証言ビデオや収容所生活等の映像資料で、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを伝える事を目的に貸し出しを行っております。近年は、県外の学校から、修学旅行の事前学習の教材として利用したいとの申込みが増えています。

貸出ビデオ・DVD

- ・VHS 証言ビデオ 28巻 (1本に3名の証言、計81名の証言)
 - ・DVD 『やーさん ひーさん しかーさん -集団疎開の証言-』
 - ・DVD 『そして僕らは生き残った』
 - ・DVD 『強制集団死(集団自決)に係る証言映像』
 - ・DVD 『平和のウミ』 30巻 (1巻10名、計300名の証言)
- ※貸出期間は2週間以内、貸出本数は5本以内となっています。

3 撮影・掲載等利用一覧

平成30年3月30日現在

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	しんぶん赤旗編集局 小木曾陽司	「教育勅語」(データ提供)掲載	1	4/11
2	株式会社ナビタイムジャパン 大西啓介	本館のwebサイトの設立理念に掲載されている資料館の外観写真及び 沖縄戦前写真「練習艦隊アルバム」と「満州の写真集」掲載	3	4/11
3	沖縄タイムス 豊平良孝	館内「むすびのことば」の前にて青山恵昭さんの写真撮影及び紙面掲 載	1	4/14
4	有限会社サン印刷 代表取締役社長 宮城剛	沖縄戦米軍記録写真0032掲載	1	5/1
5	樽林八重子	第21回 児童・生徒平和メッセージ展 中学校の部 詩部門 最優秀賞 嘉味田朝香 「幸せの一枚」掲載	1	5/8
6	ハワイ捕虜沖縄出身戦没者慰霊 祭実行委員会 代表 高山朝光	米軍記録写真0292掲載	1	5/11
7	琉球新報 編集局社会部長 小那覇安剛	沖縄戦米軍記録写真0002 0019 0083 0138 0139 0200 0205 0209 0212 0214 0234 0246 0251 0295 0300 0075掲載	15	5/16
8	八重瀬町立具志頭歴史民俗資料 館	収蔵品目録 4, 図書 (1)図書 512 紙芝居 少国民進軍歌 撮影・ 複製	1	5/17
9	茨城県那珂市役所 市長 海野徹	沖縄戦写真パネルB-001 B-005 B-042 E-015-1 E-69のデータ 掲 載・利用	5	5/18
10	公益財団 対馬丸記念会 対馬丸記念館 理事長 高良政勝	小桜の塔(対馬丸遭難者)に関する懇談会開催の案内・小桜の塔(対 馬丸遭難者)関係書類綴の調査・資料収集のため記録として撮影	2	5/25
11	だいこんの会 富中 好枝	第23回 児童・生徒の平和メッセージ展 小学校(低)の部 詩部門 最優秀賞「へいわって すてきだね」の朗読の利用	1	5/25
12	那覇市立仲井真小学校 校長 伊志嶺 安正	第32回(平成25年度)児童・生徒平和メッセージ展 小学校(低)の部 詩部門 最優秀賞「へいわって すてきだね」読み聞かせに利用	1	5/23
13	宜野湾市立博物館 館長 千木良 芳範	沖縄戦米軍記録資料0019 0032 0039 0041 0075 0078 0085 0138 0140 0191 0205 0207 0208 0209 0210 0211 0212 0213 0214 0215 0216 0217 0218 0224 0232 0233 0234 0246 0267 0282 0287 0296 0298 0299 0301 0302 0303 0307 0311 0336 0353 0371 0462 0545 0551 0554 0555 0556 0560 0562 0612 0613 0619 0622 0624 0627 0629 0636 0644 0647 0651 0653 0694 0714 0730 0325 0326 0327 0332 0462 0531 0561 0617 0618 0632 0637 0638 0639 0641 0657 0661 0696 0731 0732 0733 パネル番号E-004 B-018 複製し展示利用	87	5/29
14	糸満市教育委員会生涯学習課 課長 加島 由美子	第32回(平成25年度)児童・生徒平和メッセージ展 小学校(低)の部 詩部門 最優秀賞「へいわって すてきだね」読み聞かせ朗読に利用	1	5/31
15	すでにいる実行委員会 委員長 比嘉 豊光	沖縄県平和祈念資料館 案内パンフレット内 一階平面図を展示マップ に掲載	1	6/1
16	沖縄県平和祈念資料館 友の会 仲村 真	沖縄戦米軍記録写真 0094写真とキャプション研究の為利用	1	6/6
17	名護博物館 館長 比嘉久	大浦崎収容地の写真複製	1	6/11
18	読売新聞西部本社 那覇支局長 高橋宏平	平成28年9月7日、宮城勉さんが当館に寄贈した砲弾の破片の写真を 掲載	1	6/13
19	宜野湾市大山小学校 校長 宮城彰夫	第23回 児童・生徒の平和メッセージ展 小学校(低)の部 詩部門 最優秀賞「へいわって すてきだね」の朗読の利用	1	6/18
20	翁長克成	復帰40周年「子や孫につなぐ平和のウミイ事業 翁長常勇さんの戦争体験の語り継ぎ DVD NO K207複製	1	6/14
21	株式会社 学び舎 代表取締役 若木久造	沖縄戦米軍記録写真 0294掲載	1	6/14
22	千葉大学合唱団 団長 野口真太郎	第25回(平成27年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「みるく世がやゆら」掲載・利用	1	6/19
23	糸満市 市長 上原昭	平和祈念資料館内、平和祈念ホールでの撮影	1	6/17
24	内牧フオールロア 代表 高橋昌子	第23回 児童・生徒の平和メッセージ展 小学校(低)の部 詩部門 最優秀賞「へいわって すてきだね」の掲載	1	6/29
25	東金地域・九条の会 責任者 戸賀輝彦	第27回(平成29年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩 部門 最優秀賞「誓い～私達のおばあに寄せて」の掲載	1	6/29
26	埼玉桶川市 市長 小野克典	第27回(平成29年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「誓い～私達のおばあに寄せて」の 朗読に利用及び市の広報紙、ホームページ、ポスターに掲載	1	7/4
27	吉田空襲展実行委員会 委員長 太田友仁	沖縄県平和祈念資料館ホームページ トップページ他3枚掲載	3	7/4
28	保坂廣志	沖縄新聞1～25号表裏(計50枚) 戦時下の手紙10枚	60	7/4

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
29	千葉県長生村立長生中学校 校長 保川浩基	第27回(平成29年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「誓い～私達のおばあに寄せて」の掲載	1	7/7
30	南あわじ市 市長 守本憲弘	第27回(平成29年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「誓い～私達のおばあに寄せて」の複製・掲載	1	7/10
31	神奈川県 中地区教職員組合 執行委員長 島崎直人	第23回 児童・生徒の平和メッセージ展 小学校(低)の部 詩部門 最優秀賞「へいわって すてきだな」の掲載	1	6/30
32	特定非営利活動法人レキオウイングス	平和祈念資料館内の撮影・放映	1	7/14
33	山陰ケーブルビジョン株式会社 代表取締役社長 石原俊太郎	沖縄戦米軍記録写真0253の放映	1	7/18
34	佐賀市立図書館 館長 香月恭彦	平成28年度 詩部門(あたりまえ) 平成27年度 詩部門(どんな顔で) 平成26年度 作文部門(いのちをたいせつに)(わたしの考えるへいわ) 平成26年度 詩部門(空はつながっている) 平成25年度 詩部門(へいわってすてきだね)(平和なちきゅう)	7	7/22
35	一般財団法人 合唱音楽振興会 代表理事 堤剛	第25回(平成27年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「みるく世がやゆら」掲載・利用	1	8/1
36	演劇集団ふらっと 代表 富永芳美	第27回(平成29年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「誓い～私達のおばあに寄せて」の利用	1	7/31
37	女声合唱団stella 代表 大塚美保子	第25回(平成27年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「みるく世がやゆら」掲載・利用	1	8/9
38	沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 課長 川上睦子	沖縄県平和祈念資料館内の撮影・放映	1	8/8
39	筑波大学 人文社会系 准教授 柴田政子	沖縄戦米軍記録写真 0300 沖縄県平和祈念資料館 総合案内 P34 「方言札」の写真掲載	2	8/14
40	糸満市観光まちづくり協議会 会長 上原昭	沖縄県平和祈念資料館内での学生の平和学習撮影	1	9/4
41	筑波大学 人文社会系 准教授 柴田政子	沖縄戦米軍記録写真0234掲載	1	9/5
42	NHK沖縄放送局 局長 傍田賢治	平和祈念資料館の常設展示室の展示資料とタブレット端末の放映	1	9/6
43	株式会社アマゾンラテルナ 代表取締役社長 松田信之	投降勧告ビラ「沖縄週報」放映	1	9/5
44	琉球朝日放送株式会社 大京取締役社長 上里猛	平和祈念資料館 大会議室での学生の平和学習の撮影・放映	1	9/11
45	宇都宮合唱倶楽部 代表 加藤潤	第25回(平成27年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「みるく世がやゆら」掲載・利用	1	9/10
46	沖縄県教育庁文化財課 課長 萩尾 俊章	琉球円覚寺1/10模型撮影	1	9/14
47	中山勉	第27回(平成29年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「誓い～私達のおばあに寄せて」掲載	1	9/14
48	戦争と平和の資料館ピースあいち 館長 野間美喜子	第27回(平成29年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「誓い～私達のおばあに寄せて」利用	1	9/15
49	株式会社アマゾンラテルナ 代表取締役社長 松田信之	投降勧告ビラ「沖縄週報」放映	1	9/21
50	慶應義塾大学混声合唱団楽友会 幹事長 森田芳正	第25回(平成27年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「みるく世がやゆら」掲載・利用	1	9/27
51	大分放送アナウンス部 部長 海原みどり	第23回 児童・生徒の平和メッセージ展 小学校(低)の部 詩部門 最優秀賞「へいわって すてきだな」朗読の放映・利用	1	10/12
52	熊遊舎 指揮者 野本立人	第25回(平成27年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「みるく世がやゆら」掲載・利用	1	11/10
53	株式会社琉球新報 代表取締役社長 富田詢一	米軍記録写真081掲載	1	12/4
54	名古屋青年合唱団 団長 武藤佳子	第25回(平成27年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「みるく世がやゆら」掲載・利用	1	12/12
55	株式会社ジャパンプロデュース 代表取締役 挾間忠行	米軍記録写真0536放映	1	12/21
56	愛知県立安城農林高等学校 校長 平松幸信	第27回(平成29年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「誓い～私達のおばあに寄せて」利用	1	12/21
57	株式会社エキスプレス 取締役 田村堅三	第23回 児童・生徒の平和メッセージ展 小学校(低)の部 詩部門 最優秀賞「へいわって すてきだな」複製・放映	1	12/25
58	有限会社オフィス・イデオム 代表取締役 松本義弘	沖縄戦米軍記録写真0132 0227 0300 子どもプロセス展示室の様子 展示むすびのことば 平成28年度児童・生徒の平和メッセージ 作文部門優秀賞「くるしかった昔 平和な今」	6	12/26
59	株式会社施工工房国際旅行事業部 部長 三根謙一郎	常設展示室1室～5室にての学習の様子の撮影・放映	1	1/24

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
60	沖縄6. 23歌と踊りの実行委員会 代表 小林正幸	第27回(平成29年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「誓い～私達のおばあに寄せて」利用	1	1/25
61	合唱団ぼっぴり 代表 山本潤輝	第25回(平成27年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「みるく世がやゆら」掲載・利用	1	1/29
62	株式会社新日本出版社 代表取締役社長 田所稔	沖縄戦米軍記録写真0009	1	1/31
63	南城市教育委員会 教育長 山城馨	シベリア出兵での戦死者顕彰	1	2/5
64	NSコーポレーション株式会社 代表取締役社長 藤澤和則	沖縄県平和祈念資料館の外観及び内観	1	2/6
65	三多摩青年合唱団 代表 三浦幸子	第25回(平成27年度)児童・生徒の平和メッセージ 高等学校の部 詩部門 最優秀賞「みるく世がやゆら」掲載・利用	1	2/6
66	有限会社サン印刷 代表取締役社長 宮城剛	沖縄戦米軍記録写真0032掲載	1	2/18
67	新垣夢乃	戦前の紙芝居「玉碎軍神部隊」「小国民進軍歌」「隣組風景」「紙芝居(複製)」の撮影	4	3/3
68	琉球朝日放送 報道制作部 部長 比嘉雅人	祈念ホールにて平和講話の様子の撮影・放映	1	3/6
69	株式会社テレビ朝日 取締役局長 篠塚浩	沖縄県平和祈念資料館祈念ホールにて平和講話の様子の撮影・放映	1	3/7
70	沖縄テレビ放送(株) 報道制作局報道部長 末吉教彦	沖縄県平和祈念資料館内での平和講話の様子の撮影・放映	1	3/8
71	株式会社佐賀新聞社 編集局長 澤野善文	沖縄県平和祈念資料館常設展示室内での平和学習の様子の撮影・掲載	1	3/10
72	株式会社琉球新報社 編集局社会部長 小那覇安剛	沖縄戦米軍記録写真0042 0043 0044 0045	1	3/14
73	一般財団法人平和協会 理事長 米谷俊朗	第27回(平成29年度)児童・生徒の平和メッセージ 小学校(低)の部 作文部門 最優秀賞「えがおでへいわをつくろう」 小学校(高)の部 作文部門 最優秀賞「伝えるバトン」 中学校の部 作文部門 最優秀賞「今。受け継ぐ曾祖母の思い」 小学校(低)の部 詩部門 最優秀賞「へいわがいいね」 小学校(高)の部 詩部門 最優秀賞「今は平和といえますか？」 中学校の部 詩部門 最優秀賞「音」	6	3/20
74	琉球朝日放送株式会社 代表取締役社長 上里猛	教育勅語の撮影・放映	1	3/22
75	沖縄テレビ放送株式会社 報道部長 末吉教彦	天皇・皇后の写真(御真影)の放映	1	3/25
76	琉球朝日放送株式会社 代表取締役社長 上里猛	天皇・皇后の写真(御真影)の放映	1	3/26

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第27回「児童・生徒の平和メッセージ展」

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失った。戦後72年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。



- ① 応募総数 (3,067点) 図画1,302点 作文505点 詩1,260点
- ② 平成29年沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者
 沖縄県立宮古高等学校3年 上原 愛音 さん 「誓い～私達のおばあに寄せて～」
- ③ 県内5会場、海外1会場にて展示会の実施
- ・沖縄県平和祈念資料館 (2階海と礎の回廊) 期間： 6月23日～7月 5日
 - ・八重山平和祈念館 (第2展示室) 期間： 7月12日～7月22日
 - ・イオン名護ショッピングセンター 期間： 8月 2日～8月 9日
 - ・沖縄県庁 (1階県民ホール) 期間： 8月14日～8月18日
 - ・宮古島市役所 (1階ロビー) 期間： 9月12日～9月22日
 - ・米国ハワイ州 期間： 平成30年2月1日～3月5日

- ④ 表彰式
 [日時]平成29年 8月14日 午前11時～正午 沖縄県庁 1階県民ホール

⑤ 入賞作品数 (230点)

【特別支援学級・学校】 31作品

図画：最優秀 1、 優秀 2、 優良 3、 佳作 5 : 計11作品
 作文：最優秀 1、 優秀 1、 優良 1、 佳作 3 : 計 6作品
 詩 : 最優秀 1、 優秀 2、 優良 4、 佳作 7 : 計14作品

【小学校低学年】 26作品

図画：最優秀 1、 優秀 2、 優良 5、 佳作 7 : 計15作品
 作文：最優秀 1、 優秀 1、 優良 1、 佳作 1 : 計 4作品
 詩 : 最優秀 1、 優秀 1、 優良 2、 佳作 3 : 計 7作品

【小学校高学年】 57作品
 図画：最優秀 1、優秀 2、優良 10、佳作13 : 計26作品
 作文：最優秀 1、優秀 2、優良 1、佳作 6 : 計10作品
 詩 : 最優秀 1、優秀 2、優良 7、佳作11 : 計21作品

【中学校】 53作品
 図画：最優秀 1、優秀 2、優良 9、佳作 6 : 計18作品
 作文：最優秀 1、優秀 2、優良 5、佳作 7 : 計15作品
 詩 : 最優秀 1、優秀 2、優良 8、佳作 9 : 計20作品

【高等学校】 63作品
 図画：最優秀 1、優秀 3、優良 11、佳作15 : 計30作品
 作文：最優秀 1、優秀 2、優良 4、佳作 6 : 計13作品
 詩 : 最優秀 1、優秀 3、優良 6、佳作10 : 計20作品



平和祈念資料館 開会式 (6月23日)



八重山平和祈念館開会式



沖縄県庁 開会式



県庁 (表彰式の様子)



イオン名護店会場 (観覧の様子)



宮古島市展示会 開会式 (宮古島市役所にて)

(2) 親子ビデオ上映会

① 「子どもの日」ビデオ上映会

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧料無料に合わせて沖縄戦関連のビデオ上映を行い、親子で平和について考える機会とする。

[日時] 平成 29 年 5 月 5 日 (金)
午後 1 時 30 分～午後 4 時 15 分

[上映作品]

- かんからさんしん
- ちいちゃんのかげおくり、
- 琉球王国
- ひーさん やーさん しからーさん

[入場者数] 136名



② 慰霊の日沖縄戦関連ビデオ上映会

「慰霊の日」関連事業の一環として、観覧料無料に合わせて沖縄戦・人権関係のビデオ上映を行い、平和や人権について考えると同時に、資料館への理解を深めてもらう機会とする。

[日時] 平成 29 年 6 月 23 日 (金)
午後 2 時～午後 4 時 15 分

[上映作品]

- 「かんからさんしん」 (78分)
- 「ドキュメント沖縄戦」 (57分)

[入場者数] 262名



(3) 夏休み子ども向け企画

① 夏休み自由研究相談室 (情報ライブラリー)

[期間] 平成 29 年 7 月 21 日 (金) ～8 月 31 日 (木) 午前 10 時～午後 5 時
[内容] 自由研究の進め方やテーマの選び方などについて、助言・説明する。
[相談者数] 63 名

② 夏休み子ども教室 (情報ライブラリー)

[日時] 平成 29 年 7 月 22 日 (土) 午後 1 時～4 時
[内容] 沖縄戦について学習し、自由研究ノートづくりなどを行う。
[参加者数] 34 名

③ 常設展示室見学「聞く、見る、分かる、展示室探検」

【日時】8月8日、8月10日、8月12日 10:00～12:00

【内容】常設展示室を学芸員と一緒に見学し、沖縄戦や沖縄の歴史について理解
深める。

【参加者数】今年度は参加希望者なし

④ 短編アニメ上映会（平和祈念ホール）

【日時】8月7日、8月9日、8月12日 14:00～16:00

【内容】戦争や平和に関するアニメを鑑賞する。

上映アニメ

「トビウオのぼうやはびょうきです」「Paper Cranes Story ケンタとマイコ」「ちいちゃんのかげおくり」「一つの花」「最後の空襲」「ピカドン」「さよならカバくん」「石の声」「はとよ、ひろしまのそらを」
「さとうきび畑」「タイコンデロンガのいる海」

【参加者数】306名

⑤ 親子平和学習ツアー『親子で歩く、考える、平和ウォーキング!』

【日時】8月13日（土）10:00～12:00

【内容】平和祈念公園近隣にある戦跡や慰霊碑などを見学し、親子で沖縄戦及び平和
の大切さについて学習する。

【参加者数】大人10名、子ども8名

（5歳児1名、3年生1名、4年生1名、5年生2名、6年生2名、中学2年1名）

【コース】平和の礎 → 黎明之塔 → 第32軍司令部壕 → 沖縄師範健児の塔
→ 南冥の塔 → 金井戸川



出発前



摩文仁第32軍司令本部跡



ガマ見学



資料見学

2 教育機関との連携

(1) 平和講話

設立理念にうたわれた「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校等に実施している平和講話がある。児童生徒が常設展示室を見学する前に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、常設展示の見所などを、要点をおさえて50分程度で説明し、平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容となっている。



平和講話のようす

[平成29年度 平和講話実施状況] 総計 111校 (112回) [11,086名]

- ・小学校 88校 (7,516名)
- ・中学校 12校 (2,351名)
- ・高等学校 8校 (1,014名)
- ・特別支援学校 3校 (205名)

(2) 博物館学芸員実習

当館では、県内外の大学の要望に応じて、当館学芸員の指導により学芸員資格取得のための学芸業務(資料収集・保存活動、展示活動、教育普及活動)全般に係わる研修を実施した。学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供している。

[期間]

平成29年8月8日(火)～8月17日(木) 8/11-13を除く(7日間)

[内容]

- ① 資料整理・分類・登録
- ② 展示準備・企画展への参加
- ③ 野外実習(近隣の戦跡、類似館の見学)
- ④ 調査研究
- ⑤ 教育普及(平和講話資料作成、プレゼンテーション)

[実習生]

沖縄国際大学 1名



展示列品実習



野外実習(摩文仁の丘 健児之塔付近)

(3) 児童・生徒の職場体験（インターンシップ）

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの児童・生徒・学生を受け入れています。平成29年度は、以下のとおり、中学校及び県立高校、大学から9名の実習生を受け入れました。

[学校名・人数・期間]

- ・京都学園大学 (1名) 8月14日(月)～25日(金) 10日間
- ・糸満市立糸満中学校 (3名) 10月17日(火)～19日(木)
- ・沖縄県立糸満高等学校 (2名) 10月24日(火)～26日(木)
- ・沖縄県立豊見城南高等学校 (2名) 11月15日(水)～17日(金)
- ・沖縄県立久米島高等学校 (1名) 12月12日(火)～14日(木)

[実習内容]

- ・収集資料の分類及び整理 ・収蔵品の分類及び整理 ・貸出資料の点検及び整理
- ・展示室の清掃及び管理 ・アンケートの集計作業 ・平和講話の準備
- ・展示資料の設置及び片付け等 ・館内の清掃作業

実習生のみなさんは、職場体験で働くことを通して平和について幅広く考える機会となります。また、当館職員にとっても、資料館業務の重要性を再認識し、行政サービスの向上にもつながります。体験した生徒の皆さんが、自分の個性を発揮し、将来地域に貢献できる人材になることを期待しています。



新聞の切り抜き作業



事務作業



礎の清掃

3 講座・講習会・研修会

(1) 特別講座

日時：平成30年1月28日（日）午後2時～4時

場所：沖縄県平和祈念資料館 平和祈念ホール

タイトル：

「戦世と沖縄文化～文化財と芝居の視点から～」

講師：萩尾俊章氏（沖縄県教育庁文化財課課長）

八木政男氏（元琉球歌劇保存会会長）

参加者：75名



平成29年度特別企画展「戦世と沖縄芝居 一夢に見る沖縄 元姿やしがり」の関連催事として特別講座が上記の日程で開催された。沖縄戦では有形・無形の貴重な文化財が失われ、沖縄のアイデンティティーの喪失にもなりかねない事態となったが、戦後、人々は焦土の中から再び立ち上がり郷土文化の復興を果たした。その様子をお二人の講師をお招きしてお話していただいた。



(2) 沖縄県平和祈念資料館講習会

旅行・観光等の関係機関に携わる方々に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施した。

〈日 時〉平成30年3月14日（水）13:30～16:30

〈場 所〉沖縄県平和祈念資料館 大会議室

〈対 象〉タクシー乗務員・バスガイド・ボランティア・観光等関係者など

〈講習内容〉資料館施設説明および平和祈念公園、展示内容、沖縄戦の特徴など



(3) 沖縄県博物館協会春の研修会

期日：平成29年5月19日（金）

会場：那覇市若狭公民館

- ① 報告1「那覇市歴史博物館における尚家資料の修復・復元・活用」
那覇市歴史博物館 主幹(学芸員) 外間政明 氏
- ② 沖縄美ら島財団の文化財収集・修復・復元事業とその活用
(一財)沖縄美ら島財団 総合研究センター 琉球文化財研究室 室長 上江洲安亨 氏
- ③ 沖縄県立博物館・美術館がすすめる「琉球王国文化遺産集積・再興事業」
沖縄県立博物館・美術館 副参事兼博物館班長 園原 謙 氏

本研修においては、貴重な資料を修復する過程、次にどのように活用するのを見据えた対応の大切さ、業者との細かい連携や修復する品物の性質の見極めの重要性を学ぶことができた。また、職人の技術を参考にすること、復元により(収集・修復・復元の三位一体)本物の修理につなげていくことや首里城の展示を利用した観光資産の創出のアイデア、更に文化財のひとつひとつのパーツには、ドキュメントがあり、それを大切にすることの重要性など、文化財のことについて、多くのことを学ぶ機会となった。

(4) 平成29年度沖縄県地域史協議会

沖縄県地域史協議会は、地域史づくりの発展と地域文化の振興に寄与するべく、新たな史資料の発掘、収集に努めている。当館も会員として各機関と連携をとりつつ、情報と資料の共有および交換を図るなど活動に参加している。平成29年度は下記の内容で研修会がおこなわれた。

〈2017年度沖縄県地域史協議会第1回研修会〉

- ① 期 日 平成29年7月21日（金）
- ② 場 所 ①沖縄空手会館 ②旧海軍司令部壕
- ③ 日 程
10：00～12：00 〈施設見学〉 ①沖縄空手会館 ②旧海軍司令部壕
13：30～17：00
総 会
講演Ⅰ 「空手の歴史について」 田名真之（沖縄県立博物館・美術館館長）
報告Ⅰ 「沖縄県史 各論編 女性史および沖縄戦の編集について」
小野まさ子・当山昌直（沖縄県史料編集班）
報告Ⅱ 「移民編刊行について」 赤嶺みゆき（豊見城市史）
報告Ⅲ 「戦争編刊行について」 川満 彰（名護市史）

〈2017年度沖縄県地域史協議会第2回研修会〉

- ① 期 日 平成29年10月20日（金）
- ② 場 所 金武町立中央公民館
- ③ 日 程
10：00～13：00 〈巡検〉 金武町内史跡・文化財巡り
13：30～17：20
講演Ⅰ 「山原における社寺と民間の建造物」 仲原弘哲（元今帰仁村歴史文化センター館長）
講演Ⅱ 「近代産業施設・生活関連施設の特徴」 福島駿介（琉球大学名誉教授）
報告Ⅰ 「當山記念館」 安座間充・玉元孝治（金武町教育委員会）
報告Ⅱ 「大宜味村役場旧庁舎」 米須邦雄（大宜味村教育委員会教育長）
報告Ⅲ 「軽便与那原駅舎」 宮城明恵（与那原町教育委員会）
報告Ⅳ 「津嘉山酒造所」 宮里ひな子（名護市教育委員会）

(5) 県立学校、幼稚園初任者研修会における講義

県立高等学校及び県立特別支援学校、幼稚園において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[日 時] ①平成29年5月11日(木) 15時00分～16時00分

②平成29年8月3日(木) 9時00分～10時30分

[場 所] ①沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

②沖縄県立総合教育センター IT教育棟 1階大講義室

[受講者] ①県立学校初任者 78名

②幼稚園初任者 47名

[講 義] 「学校における平和学習・教育に望むもの」

(6) 教職10年経験者選択研修会における講義、館内視察研修

教職10年経験者を対象とする沖縄県教育庁那覇教育事務所主催の研修会において講義を行った。

平和教育実践について、児童生徒の理解に基づいた積極的なかわりによる授業のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[日 時] 平成29年7月31日(月) 14時00分～16時45分

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

[受講者] 平成29年度教職10年経験者 那覇教育事務所管内 小学校7名、中学校4名、計11名

[講 義] 「平和祈念資料館について」「授業で実践できる平和学習について」

(7) 沖縄県新規採用職員後期研修会における講義

沖縄県の新規採用職員を対象に県職員としての教養や資質の向上のため、沖縄県自治研修所が主催する研修会において「沖縄戦について」をテーマに講義を行った。県直営の当資料館の存在意義を広く周知するとともに、沖縄戦の概要や資料館の働き等について研修を行った。

[日 時] ①平成29年10月3日(火) 14時40分～16時00分

②平成29年10月17日(火) 14時40分～16時00分

[場 所] 沖縄県自治研修所

[受講者] ①77名 ②78名 計155名

[講 義] 「沖縄戦について」

(8) 「島守の塔」慰霊継承新採用職員研修における講義、館内視察研修

県の新採用職員を対象として、「沖縄戦と公務員」をテーマに講義を行った。平和を希求する精神や公務員の原点たる奉仕及び公務遂行の精神を学び、沖縄県職員としての意識の高揚及び能力向上を図ることを主なねらいとしている。講義の後、常設展示室を視察し、沖縄戦の実相と戦時行政について理解を深めた。

[日 時] ①平成29年6月9日(金) 14時00分～15時20分

②平成29年11月10日(金) 14時00分～15時20分

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室、常設展示室

[受講者] ①40名 ②40名 計80名

[講 義] 「戦時行政について」

(9) 自治大学校第1部・第2部特別課程第29期事後研修における講義、館内視察研修

平成27年度に同大学の同課程卒業生を対象に「沖縄戦について」をテーマに講義を行った。本県が有する独自の歴史文化等ソフトパワーを活用した地域創生にかかる取り組みを視察する一環で、沖縄戦の実相と教訓を正しく伝え、国内外に発信している当館の使命、役割について研修を行った。

[日 時] 平成29年10月14日(土) 13時45分～15時00分

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

[受講者] 24名
[講義] 「沖縄戦について」

(10) JICA名桜大学連携講座における講義

名桜大学講座「国際学入門」受講生を対象に「沖縄県が実施する国際協力の成果～カンボジア平和博物館協力～」をテーマに講義を行った。当館が2009年～2017年にかけて実施したJICA草の根技術協力事業の実践例を紹介しながら、沖縄戦と他国との事例や教訓を比較し、平和構築における共通項を見つける視点について学ぶ機会とした。

[日時] 平成29年11月9日(木)13時00分～14時30分

[場所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

[受講者] 約180名

[講義] 「沖縄県が実施する国際協力の成果」

(11) おきなわ国際協力人材育成事業(OICユース2017) 国別事前学習プログラムにおける講義、見学

沖縄県が実施している「平成29年度おきなわ国際協力人材育成事業」において、カンボジア王国へ派遣される15名の高校生を対象に、「沖縄県平和祈念資料館の果たす役割について」をテーマに講義を行った。沖縄戦の実相と教訓について理解を深めるとともに、住民視点で戦争と平和構築を考えることの意義について学ぶ機会とした。

[日時] 平成29年7月29日(土)14時40分～16時30分

[場所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室、常設展示室

[受講者] 13名

[講義] 「沖縄県平和祈念資料館の果たす役割について」

VI 刊行物等

○『沖縄県平和祈念資料館年報 第17号』

平成28年度の当館事業の実績報告に係わる行政資料。入館者の概要、事業内容や活動内容等。A4版73頁、500部を平成29年6月に発行。

○「沖縄県平和祈念資料館だより」

平成29年度の資料館事業報告や事業計画等について周知させる広報誌。33号を平成29年8月に、34号を平成30年3月にA4版8頁、各2,500部発行。

○平成29年度第18回 特別企画展 「戦世と沖縄芝居一夢に見る沖縄 元姿やしがい」、周知用ポスターと図録A4版74頁、1,000部を10月に発行。

○「第27回児童・生徒の平和メッセージ事業」募集ポスターとチラシを7,000部発行。

○「第27回児童・生徒の平和メッセージ展」開催告知ポスターとチラシを各650枚、5,000枚発行。

○「第27回児童・生徒の平和メッセージ展実施報告書」

展示会の模様、募集要項、図画・作文・詩の最優秀・優秀作品入選作品等を掲載。A4版80頁、1,000部を3月に発行。

○「新収蔵品展一平成27年度・28年度新収蔵資料」図録A4版19頁、100部とチラシを800枚2月に刊行。

VII その他の事業

1 「戦世の記憶」 平和発信強化事業

【期間】平成29年7月～平成30年3月

【目的】沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に沖縄のこころを訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するという沖縄県平和祈念資料館設立理念実現のため、沖縄戦の歴史的教訓及び沖縄のこころの発信強化を図る。

【概要】

(1) 戦争体験者証言の多言語翻訳

沖縄県平和祈念資料館が平成28年度に収録した30人の戦争体験者証言の反訳文をもとに7言語の翻訳を行った。

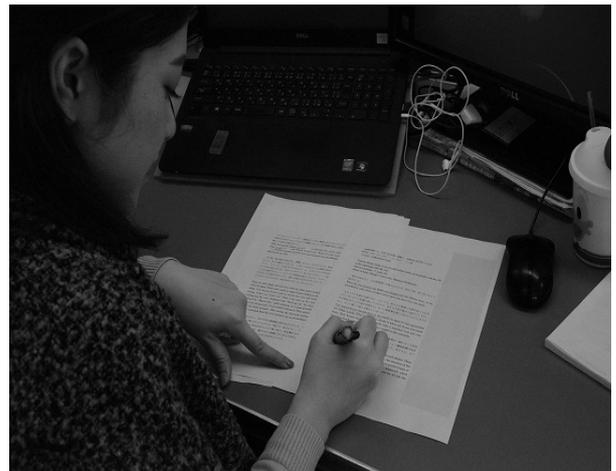
※多言語化＝英語、中国語（簡体字）、韓国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、マレーシア語（日本語以外の7言語）

《多言語翻訳した証言原稿例》

《中国語版》

《少年经历的久米岛战争》
山城 昌盛 79岁
(出身地: 沖縄县久米岛村仲里)
“
当时的士兵一边说着“必胜”，一边却让我帮忙挖掘用于躲在我家的防空洞。
如果战争期间日军高层能及时说出“胜利无望，还是放弃战争吧”，那么原子弹也不会落在日本落下。
如果能及早结束战争，那么冲绳本岛南部就不会死那么多人了。
“
那时，我虽然在读一年级，但整天都在进行战争训练，根本无暇学习。每天不是学空袭警报响起后该如何逃命，就是制作大号稻草人，进行竹枪训练。
“
1944年10月10日空袭当天，大量飞机飞了过来。飞机尚在空中时，误以为他们是友军的我们一边高呼万岁，一边冲到了操场。直到飞机降低高度，能够看

《翻訳作業の様子》



《スペイン語 日本語との対比版》

『久米島仲地での戦争体験』
中村 昌繁（なかむら しょうはん）85歳
(出身地: 沖縄県久米島村仲地)
「Experiencia de la guerra en Nakachi Kumejima」
Nombre : Shohan Nakamura
Edad : 85 años
Lugar de Nacimiento ; Nakachi Pueblo de Kumejima Prefectura de Okinawa
“
当時は軍国主義でした。上からの教で「絶えず、闘え」というような風潮でした。手旗信号も教えられました。婦人会や青年会が運動会などで、敵でチャーチル、ルーズベルトとか、蒋介石とかのワラ人形を作って、それを木銃で突いたりしていました。
Era una época militarista con un ambiente de [lucha constante] que venía de las enseñanzas de los superiores. Nos enseñaron también las señales con las banderas. En los festivales deportivos, la asociación de damas

《マレー語 日本語との対比版》

『軍国少年の南部への逃避行、捕虜となり収容所へ』
Pemuda tentera melarikan diri ke bahagian selatan, menjadi tawanan perang dan ke kem tahanan
山田 芳男さん86歳
(出身地: 沖縄県那覇市首里)
En. Yoshio Yamada, 86 tahun
(Asal: Shuri, Naha-shi, Okinawa)
“
戦時中は、軍国少年でした。そのため、学校でも「日本は負けない、絶対に勝つ!」、そのような教育しかされていませんでした。そのころは、まさか敗戦になるということは、まったく、想像もしていませんでした。
Semasa perang, saya adalah pemuda tentera. Oleh itu di sekolah, pendidikan yang saya dapat hanyalah “Jepun tidak akan kalah, mesti menang!” sahaja. Waktu itu, tidak pernah terlintas di fikiran saya langsung bahawa Jepun akan kalah perang.”

(2) 70人の証言映像吹き替え版の作成

沖縄県平和祈念資料館が平成28年度に多言語翻訳した7言語40人分の戦争体験者証言に

(1) で作成した翻訳文を合わせた、70人分の多言語吹き替え映像を編集・作成した。

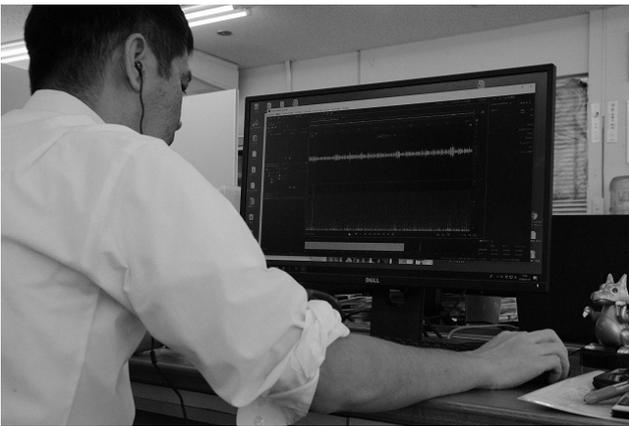
《吹き替え映像作成》



吹き替え音声録音の様子



吹き替え画像編集作業



音声データ調整作業



吹き替え映像DVD収納

《 成果物：各言語字幕入り吹き替え映像 》



韓国語版吹き替え映像



吹き替え映像トップ画面
(日本語版含む8言語選択)

2 第4回「児童・生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」～海外展示活動～

(1) 展示会

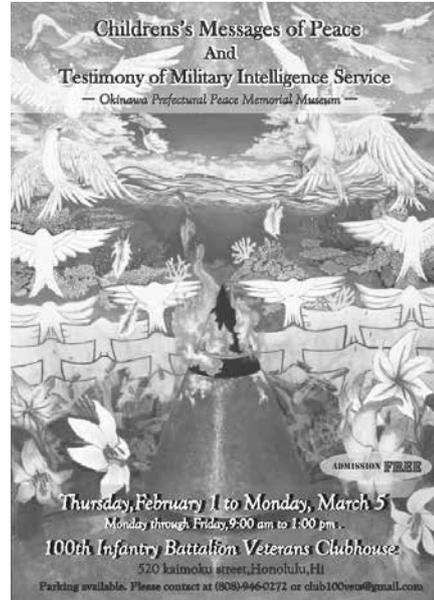
①会場：第100歩兵大隊ベテランズクラブハウス（ハワイ州ホノルル市カモク通り 520

②開催日 平成30年2月1日（木）～3月5日（月）

③展示会の様子



会場（第100歩兵大隊ベテランズクラブ）



H29年度ハワイ展示会ポスター



MIS（軍諜報部）クラブ会員も観覧



展示会を協力、支援してくれた第100歩兵大隊ベテランズ支部長へ感謝状と記念品を贈呈



資料館職員による説明を聴く観覧者



熱心に観覧する様子

(2) 平和講話

- ① 実施校：Pacific Buddhist Academy 高校
- ② 講話の様子



高校生約 60 名に平和講話



③講話終了後の生徒達の感想

- ・先祖は沖縄からの移民で私は半分オキナワ人なのですが、戦争でこんな体験したことを全然知りませんでした。感動しました。
- ・わざわざ学校まで来てくれてこの話をしてくれたことに感謝します。今回の講和はどこでやっても伝わる内容だと思うのでいろいろな所で話をして下さい。
- ・今年「交流プログラム」で沖縄に行くのですが、沖縄県平和祈念資料館に行きたいと思いました。必ず観覧します。
- ・すごく深いメッセージが伝わってきました。言葉（の流暢さ）ではなく、平和を伝えたい、その気持ちがまっすぐ伝わり、私たちが何をすればいいか、考えさせられました。

(3) その他



地元ラジオ局に出演し PR 活動
(場所：KZ Radio スタジオ)



小緑字人会主催『ハワイ・沖縄・レストラン展』で PR 活動
(場所：ホノルル市役所)



ハワイ沖縄連合会と協力関係の覚書（右）を締結



3 JICA草の根技術協力事業（2016—2017）

1. 事業名： 「沖縄・カンボジア 博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」
2. 実施主体： JICA 沖縄 ※主催：NPO 沖縄平和協力センター（OPAC）
3. 実施協力： 沖縄県平和祈念資料館（平和教育及び展示教育の専門家派遣、研修と支援実施）
4. 支援対象： カンボジア王国 国立トゥール・スレン虐殺博物館（プノンペン市）以下 TSGM
5. 実施期間： 平成28年6月～平成29年6月

平成21年（2009年）～平成27年（2015年）にかけて沖縄県（沖縄県平和祈念資料館及び沖縄県立博物館・美術館）が行ったJICA草の根技術協力事業のフォローアップ事業として実施した。

TSGMは、史上最悪の大虐殺のひとつとされる、クメール・ルージュ政権（ポル・ポト派）による大虐殺（推定180万人～200万人）の記憶を伝える資料を展示している。ユネスコ世界記憶遺産にも指定されている。この事業を通して、当館よりTSGMの教育普及チームに対して平和教育の普及に関する技術移転を行った。また、本県の平和教育への事業成果還元として教育関連シンポジウムも実施した。

○ 教育関連シンポジウム 平成29年4月22日(土) 14時～16時半 2F大会議室

当館が実施しているJICA事業の成果を県民に還元することを目的にシンポジウムを開催した。八重山商工（米田美由紀教諭）と首里高校（大城エリカ教諭）が実践した公開授業の内容を紹介し、沖縄戦とカンボジアにおけるクメール・ルージュ政権による虐殺について、その実相と教訓を比較し共通項を見出した。さらに、これからの平和教育の在り方について、パネリストと参加者が意見交換を図った。

○ JICA事業の終了時評価及びミニッツ締結のための専門家派遣（館長ほか）

派遣期間 平成29年5月21日(日)～5月27日(土)

派遣場所 カンボジア王国 国立トゥール・スレン虐殺博物館（プノンペン市）

2009年から続いたトゥール・スレン虐殺博物館への支援事業も最後となる。平和教育普及に焦点を当てた今回の支援事業を通して、トゥール・スレン虐殺博物館の理念であるビジョンとミッションが初めて策定され、「学習の手引き」が発刊された。また、理念を踏まえた平和講話指導計画をもとに教育普及チームによる公私立学校への講話もスタートしている。カンボジアと沖縄県が強い絆で結ばれた支援事業となった。

（写真は 事業終了ミニッツ締結の様子）



4 ヒロシマ原爆展（共催事業）

期間 平成29年7月1日(土)～8月12日(土)

場所 企画展示室

平成12年の「ヒロシマ・ナガサキ・原爆展」以来、2度目となる原爆展を開催した。被爆資料20点、写真パネルや原爆の絵などの資料を展示するほか、7月1日、2日には、被爆体験者講話、被爆体験記朗読会も行った。

期間中11,320人の来館者が訪れた。



平成29年
7月1日▶
8月12日●
9:00～17:00

ヒロシマ原爆展

● 沖縄県平和祈念資料館 企画展示室
〒901-0122 沖縄県那覇市上原1-1-1
● 広島市 ● 沖縄県(沖縄県平和祈念資料館)
● 糸満市 ● 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

● 被爆体験者講話(被爆者によるご本人の被爆体験の自述)
広島7月1日 10:30～11:30、14:00～15:00
7月2日 10:30～11:30

● 被爆体験者朗読会(朗読ボランティアによる被爆者や被爆者の自述)
広島7月1日 12:30～13:30、15:30～16:30
7月2日 12:00～13:00

● 無料 ● 要予約 ● 要申込 ● 申込受付中

企画運営 広島平和記念資料館 〒730-0811 広島県広島市東区 電話 082-222-7921(内線)



テープカット



来館の様子

〈観覧者アンケートより〉※一部掲載

- 展示を見て、涙がとまりません。戦争につながるすべてに反対したいと思います。
- 非常に貴重な展示でした。もともとヒロシマで見たいと思っていたので、沖縄に来て頂けて感謝しています。ありがとうございました。
- 普段、戦争のことなんて考えた事ありませんでしたが、戦争・原爆の悲惨さを改めて感じました。私1人でできる事なんてありませんが、1人1人が他人事だと思わず、戦争について考えていくことが大切なんだと思いました。

VII 入館者状況

1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館 日数	一日平均 入館者数 ※1	入館者 総数 ※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2017年4月	6,748 (246)	938 (48)	7,686 (294)	3,481 (272)	19,512 (2,983)	22,993 (3,255)	10,229 (518)	20,450 (3,031)	30,679 (3,549)	30	1,023	37,999
2017年5月	6,928 (249)	1,087 (228)	8,015 (477)	3,696 (555)	29,777 (5,905)	33,473 (6,460)	10,624 (804)	30,864 (6,133)	41,488 (6,937)	31	1,338	50,839
2017年6月	8,855 (2,686)	2,434 (1,500)	11,289 (4,186)	3,596 (356)	24,989 (4,979)	28,585 (5,335)	12,451 (3,042)	27,423 (6,479)	39,874 (9,521)	30	1,329	55,065
2017年7月	7,225 (210)	1,432 (36)	8,657 (246)	701 (70)	3,867 (1,194)	4,568 (1,264)	7,926 (280)	5,299 (1,230)	13,225 (1,510)	31	427	23,215
2017年8月	9,288 (372)	3,656 (36)	12,944 (408)	814 (3)	1,074 (86)	1,888 (89)	10,102 (375)	4,730 (122)	14,832 (497)	31	478	25,464
2017年9月	5,829 (169)	927 (88)	6,756 (257)	1,172 (65)	6,356 (529)	7,528 (594)	7,001 (234)	7,283 (617)	14,284 (851)	30	476	20,734
2017年10月	5,700 (163)	595 (80)	6,295 (243)	2,678 (60)	38,796 (685)	41,474 (745)	8,378 (223)	39,391 (765)	47,769 (988)	30	1,592	51,412
2017年11月	6,685 (321)	596 (104)	7,281 (425)	4,063 (141)	39,258 (1,564)	43,321 (1,705)	10,748 (462)	39,854 (1,668)	50,602 (2,130)	28	1,807	54,689
2017年12月	5,455 (405)	779 (62)	6,234 (467)	3,215 (174)	33,185 (1,173)	36,400 (1,347)	8,670 (579)	33,964 (1,235)	42,634 (1,814)	28	1,523	43,193
2018年1月	6,108 (228)	699 (81)	6,807 (309)	1,677 (108)	14,215 (753)	15,892 (861)	7,785 (336)	14,914 (834)	22,699 (1,170)	28	811	28,599
2018年2月	6,196 (200)	836 (21)	7,032 (221)	1,425 (73)	10,903 (367)	12,328 (440)	7,621 (273)	11,739 (388)	19,360 (661)	28	691	25,808
2018年3月	7,460 (220)	1,765 (32)	9,225 (252)	2,201 (0)	7,747 (0)	9,948 (0)	9,661 (220)	9,512 (32)	19,173 (252)	31	618	27,962
合 計	82,477 (5,469)	15,744 (2,316)	98,221 (7,785)	28,719 (1,877)	229,679 (20,218)	258,398 (22,095)	111,196 (7,346)	245,423 (22,534)	356,619 (29,880)	356	1,002	444,979

() は内数で無料入場者数

※1 は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧											計	※無料 観覧者	観覧者 総数	開館 日数	平均
	観覧券種別						出身別									
	大人個人 (%)		小人個人 (%)		小人団体 (%)		県内	県外	外国		計					
	大人個人 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	小人団体 (%)	小人団体 (%)	県内	県外	外国	外国							
2000年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552				
2001年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074				
2002年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206				
2003年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284				
2004年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263				
2005年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325				
2006年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253				
2007年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228				
2008年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207				
2009年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135				
2010年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116				
2011年度	69,648 (19)	28,662 (8)	11,586 (3)	249,400 (70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103				
2012年度	70,341 (21)	29,600 (9)	10,469 (3)	227,827 (67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044				
2013年度	74,165 (22)	26,641 (8)	11,004 (3)	232,295 (68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046				
2014年度	70,529 (21)	27,000 (8)	10,276 (3)	223,917 (68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026				
2015年度	78,673 (23)	29,449 (9)	12,481 (4)	218,478 (64)	9,038	317,869	12,174	339,081	32,287	371,368	358	1,037				
2016年度	75,390 (22)	27,261 (8)	12,454 (4)	226,001 (66)	7,963	319,109	14,034	341,106	31,396	372,502	356	1,046				
2017年度	77,008 (24)	26,842 (8)	13,428 (4)	209,461 (64)	9,329	299,935	17,475	326,739	29,880	356,619	356	1,002				
累計								6,513,217	623,435	7,136,652	6,159	1,158				

参考
慰霊の日無料入館者数

年度	入館者数	年度	入館者数
2000年度	4,966	2009年度	4,649
2001年度	3,157	2010年度	5,479
2002年度	4,750	2011年度	3,665
2003年度	4,259	2012年度	3,240
2004年度	4,849	2013年度	3,797
2005年度	3,815	2014年度	3,239
2006年度	2,813	2015年度	4,007
2007年度	3,785	2016年度	3,701
2008年度	4,257	2017年度	3,619
		合計	72,047

3 月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況

月	児童・生徒・学生												少年の船・ 青年の船等	合計
	県内						県外							
	小学校	中学校	高等学校	大学	計		小学校	中学校	高等学校	大学	計			
4月	団体数	23 (23)	1 (1)	27 (26)	1 (0)	150 (2)		23 (23)	124 (2)	28 (3)	2 (0)	177 (28)	5 (4)	182 (32)
	人数	2,224 (2224)	198 (279)	2,758 (2701)	57 (0)	16,411 (117)		2,224 (2224)	13,352 (198)	3,500 (396)	93 (0)	19,169 (2818)	229 (165)	19,398 (2983)
5月	団体数	43 (41)	2 (2)	56 (54)	0 (0)	198 (5)		45 (41)	174 (11)	35 (7)	0 (0)	254 (59)	5 (3)	259 (62)
	人数	3,252 (3199)	2,054 (350)	5,656 (5603)	0 (0)	23,905 (2754)		3,419 (3199)	21,161 (2054)	4,981 (469)	0 (0)	29,561 (5722)	216 (183)	29,777 (5905)
6月	団体数	34 (30)	7 (7)	54 (48)	2 (0)	135 (0)		43 (30)	90 (11)	52 (7)	4 (0)	189 (48)	8 (2)	197 (50)
	人数	2,717 (2577)	1,345 (998)	5,150 (4920)	90 (0)	19,600 (0)		3,161 (2577)	13,044 (1345)	8,363 (998)	182 (0)	24,750 (4920)	216 (59)	24,966 (4979)
7月	団体数	7 (6)	4 (3)	12 (0)	0 (0)	15 (0)		9 (6)	2 (0)	16 (3)	0 (0)	27 (9)	12 (0)	39 (9)
	人数	583 (528)	36 (666)	1,308 (1194)	0 (0)	2,079 (0)		667 (528)	70 (0)	2,650 (666)	0 (0)	3,387 (1194)	480 (0)	3,867 (1194)
8月	団体数	5 (0)	1 (1)	6 (1)	0 (0)	2 (0)		5 (0)	1 (0)	2 (1)	0 (0)	8 (1)	19 (0)	27 (1)
	人数	183 (0)	86 (86)	269 (86)	0 (0)	102 (0)		183 (0)	22 (0)	166 (86)	0 (0)	371 (86)	703 (0)	1,074 (86)
9月	団体数	3 (3)	0 (0)	5 (4)	1 (0)	38 (0)		3 (3)	8 (1)	26 (1)	6 (0)	43 (5)	3 (2)	46 (7)
	人数	266 (266)	191 (191)	483 (457)	26 (0)	5,819 (0)		266 (266)	465 (191)	5,349 (42)	222 (0)	6,302 (499)	54 (30)	6,356 (529)
10月	団体数	10 (10)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	185 (6)		12 (10)	7 (1)	175 (0)	2 (0)	196 (11)	3 (1)	199 (12)
	人数	476 (471)	193 (193)	669 (664)	0 (0)	38,063 (0)		572 (471)	807 (193)	37,275 (0)	78 (0)	38,732 (664)	64 (21)	38,796 (685)
11月	団体数	22 (22)	0 (0)	24 (23)	1 (0)	204 (1)		22 (22)	10 (1)	195 (1)	1 (0)	228 (24)	3 (1)	231 (25)
	人数	1,340 (1340)	167 (167)	1,531 (1507)	24 (0)	37,591 (21)		1,340 (1340)	1,369 (167)	36,389 (21)	24 (0)	39,122 (1528)	136 (36)	39,258 (1564)
12月	団体数	8 (8)	2 (2)	12 (11)	1 (0)	208 (6)		8 (8)	29 (1)	180 (8)	3 (0)	220 (17)	5 (0)	225 (17)
	人数	411 (411)	205 (205)	973 (956)	17 (0)	32,022 (217)		433 (411)	2,578 (205)	29,894 (557)	90 (0)	32,995 (1173)	190 (0)	33,185 (1173)
1月	団体数	7 (6)	0 (0)	8 (6)	0 (0)	72 (4)		8 (6)	2 (0)	70 (4)	0 (0)	80 (10)	0 (0)	80 (10)
	人数	592 (559)	0 (0)	610 (263)	30 (0)	13,600 (194)		622 (559)	197 (0)	13,391 (194)	0 (0)	14,210 (753)	5 (0)	14,215 (753)
2月	団体数	2 (2)	1 (0)	4 (0)	0 (0)	69 (4)		7 (2)	10 (0)	54 (4)	2 (0)	73 (6)	3 (1)	76 (7)
	人数	226 (226)	104 (0)	347 (0)	0 (0)	10,489 (116)		407 (226)	1,509 (0)	8,868 (116)	52 (0)	10,836 (342)	66 (25)	10,902 (367)
3月	団体数	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	54 (0)		2 (0)	5 (0)	49 (0)	0 (0)	56 (0)	6 (0)	62 (0)
	人数	88 (0)	0 (0)	88 (0)	0 (0)	7,496 (0)		88 (0)	693 (0)	6,803 (0)	0 (0)	7,584 (0)	159 (0)	7,743 (0)
人数 合計	団体数	166 (151)	30 (16)	221 (195)	6 (0)	1,330 (23)		187 (151)	462 (28)	882 (39)	20 (0)	1,551 (218)	72 (14)	1,623 (232)
	人数	12,358 (11801)	4,493 (4353)	19,842 (18873)	214 (0)	207,177 (826)		13,382 (11801)	55,267 (4353)	157,629 (3545)	741 (0)	227,019 (19699)	2,518 (519)	229,537 (20218)

() は内数で無料入館者数

4 市町村別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 那覇市	32	2,818	6	1,095	5	414	1	70	44	4,397	25	1,185	69	5,582
2 うるま市	11	918	2	351	4	737	0	0	17	2,006	5	321	22	2,327
3 宜野湾市	4	450	0	0	0	0	2	37	6	487	6	225	12	712
4 宮古島市	11	490	0	0	0	0	0	0	11	490	0	50	11	540
5 石垣市	9	499	0	0	0	0	0	0	9	499	0	44	9	543
6 浦添市	10	1,127	3	758	1	86	0	0	14	1,971	12	781	26	2,752
7 名護市	8	627	1	22	1	30	0	0	10	679	0	55	10	734
8 糸満市	8	545	4	308	1	359	1	26	14	1,238	2	107	16	1,345
9 沖縄市	8	695	2	437	2	679	0	0	12	1,811	10	438	22	2,249
10 豊見城市	12	909	1	223	0	0	0	0	13	1,132	2	142	15	1,274
11 南城市	8	439	2	139	0	0	0	0	10	578	1	64	11	642
12 国頭村	2	43	0	0	0	0	0	0	2	43	1	34	3	77
13 大宜味村	1	20	0	0	0	0	0	0	1	20	0	4	1	24
14 東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 今帰仁村	3	106	0	0	0	0	0	0	3	106	0	14	3	120
16 本部町	2	97	0	0	0	0	0	0	2	97	3	94	5	191
17 恩納村	2	44	0	0	0	0	0	0	2	44	1	33	3	77
18 宜野座村	1	31	1	52	0	0	0	0	2	83	1	75	3	158
19 金武町	2	131	0	0	0	0	0	0	2	131	2	85	4	216
20 伊江村	2	51	0	0	0	0	0	0	2	51	0	7	2	58
21 読谷村	2	99	1	205	1	317	0	0	4	621	0	31	4	652
22 嘉手納町	2	59	1	104	1	18	0	0	4	181	12	374	16	555
23 北谷町	3	248	0	0	0	0	0	0	3	248	3	92	6	340
24 北中城村	2	188	1	173	1	48	0	0	4	409	4	177	8	586
25 中城村	2	82	1	133	0	0	0	0	3	215	1	45	4	260
26 西原町	3	301	1	193	0	0	1	24	5	518	3	145	8	663
27 八重瀬町	4	313	1	54	0	0	0	0	5	367	1	228	6	595
28 与那原町	4	361	1	206	1	59	1	57	7	683	1	73	8	756
29 南風原町	5	589	1	40	1	30	0	0	7	659	1	82	8	741
30 久米島町	3	78	0	0	0	0	0	0	3	78	0	10	3	88
31 渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 座間味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 栗国村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 南大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 伊平屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38 伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 多良間村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40 竹富町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41 与那国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	166	12,358	30	4,493	19	2,777	6	214	221	19,842	97	5,015	318	24,857

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

都道府県名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	2	96	0	0	15	1,697	1	41	18	1,834	6	391	24	2,225
2 青森県	0	0	0	0	3	254	0	0	3	254	4	130	7	384
3 岩手県	0	0	1	35	8	483	0	0	9	518	4	128	13	646
4 宮城県	0	0	1	97	12	1,027	0	0	13	1,124	4	194	17	1,318
5 秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 山形県	0	0	5	597	5	269	0	0	10	866	2	100	12	966
7 福島県	0	0	1	135	11	1,681	0	0	12	1,816	4	196	16	2,012
8 茨城県	0	0	2	193	31	5,428	1	22	34	5,643	7	552	41	6,195
9 栃木県	0	0	0	0	29	5,606	0	0	29	5,606	4	446	33	6,052
10 群馬県	0	0	0	0	18	2,429	0	0	18	2,429	8	430	26	2,859
11 埼玉県	0	0	0	0	81	18,962	1	36	82	18,998	10	1,605	92	20,603
12 千葉県	1	20	0	0	44	10,791	1	62	46	10,873	3	670	49	11,543
13 東京都	1	120	11	1,358	186	33,159	6	254	204	34,891	49	4,498	253	39,389
14 神奈川県	0	0	8	1,008	90	20,917	1	35	99	21,960	4	1,165	103	23,125
15 新潟県	0	0	2	238	7	738	0	0	9	976	5	172	14	1,148
16 富山県	0	0	1	156	2	263	0	0	3	419	2	82	5	501
17 石川県	0	0	1	22	1	236	0	0	2	258	1	178	3	436
18 福井県	0	0	1	273	3	440	0	0	4	713	4	135	8	848
19 山梨県	0	0	0	0	27	3,870	0	0	27	3,870	2	327	29	4,197
20 長野県	0	0	0	0	29	5,262	0	0	29	5,262	2	326	31	5,588
21 岐阜県	0	0	2	291	40	7,005	0	0	42	7,296	0	416	42	7,712
22 静岡県	0	0	1	119	53	7,736	2	57	56	7,912	8	752	64	8,664
23 愛知県	1	32	8	1,664	66	12,992	0	0	75	14,688	9	1,105	84	15,793
24 三重県	0	0	9	1,118	10	2,355	0	0	19	3,473	2	285	21	3,758
25 滋賀県	0	0	26	3,197	2	56	0	0	28	3,253	1	296	29	3,549
26 京都府	2	169	21	3,383	15	2,713	0	0	38	6,265	3	500	41	6,765
27 大阪府	1	72	75	10,400	13	2,154	0	0	89	12,626	10	1,314	99	13,940
28 兵庫県	3	95	57	7,618	12	1,204	0	0	72	8,917	2	734	74	9,651
29 奈良県	0	0	26	2,706	2	408	0	0	28	3,114	0	251	28	3,365
30 和歌山県	0	0	1	19	1	21	0	0	2	40	1	41	3	81
31 鳥取県	0	0	10	715	3	235	0	0	13	950	0	90	13	1,040
32 島根県	0	0	2	159	2	147	0	0	4	306	1	43	5	349
33 岡山県	0	0	61	5,654	3	129	0	0	64	5,783	6	725	70	6,508
34 広島県	2	35	10	712	13	1,848	1	20	26	2,615	3	277	29	2,892
35 山口県	0	0	0	0	2	44	0	0	2	44	3	81	5	125
36 徳島県	0	0	5	675	0	0	0	0	5	675	1	74	6	749
37 香川県	0	0	21	3,081	0	0	0	0	21	3,081	2	296	23	3,377
38 愛媛県	0	0	3	643	4	179	0	0	7	822	5	178	12	1,000
39 高知県	0	0	15	1,007	1	14	0	0	16	1,021	1	131	17	1,152
40 福岡県	1	85	9	1,031	12	1,444	0	0	22	2,560	16	1,731	38	4,291
41 佐賀県	0	0	3	102	0	0	0	0	3	102	1	59	4	161
42 長崎県	0	0	2	93	1	60	0	0	3	153	4	283	7	436
43 熊本県	0	0	19	1,790	1	37	0	0	20	1,827	7	344	27	2,171
44 大分県	0	0	4	146	2	78	0	0	6	224	1	57	7	281
45 宮崎県	0	0	4	190	2	86	0	0	6	276	5	213	11	489
46 鹿児島県	7	300	5	226	0	0	0	0	12	526	2	133	14	659
合計	21	1,024	433	50,851	862	154,457	14	527	1,330	206,859	219	22,134	1,549	228,993
47 沖縄県	166	12,358	30	4,493	19	2,777	6	214	221	19,842	97	5,015	318	24,857

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

IX 八重山平和祈念館

1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成をめざす。

(1) 設立経過

1989（平成元）年

- 5月28日 戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者支援会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。
- 10月16日 沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」を決議される。

1995（平成7）年

- 12月25日 平成8年度国庫予算において、事務次官折衝の中でマラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。

慰藉事業の内訳は、次のとおりである。

- ① 慰霊碑建立
- ② 八重山平和祈念館建設
- ③ マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂事業
- ④ マラリア死没者慰藉のための追悼事業

1997（平成9）年

- 3月31日 八重山平和祈念館竣工

1998（平成10）年

- 1月 八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月まで）
- 5月 八重山平和祈念館基本計画策定
- 11月 八重山平和祈念館監修委員会開催（平成11年2月まで）
八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注
（平成11年3月まで）

1999（平成11）年

- 3月 「沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」一部改正。「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。
- 5月28日 八重山平和祈念館開館式
- 5月29日 八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

- ① 総面積 : 520 m²
- ② 各室面積
 - 第1展示室 : 130 m²
 - 第2展示室 : 120 m²
 - 保管室 : 20 m²
 - 図書室 : 30 m²
 - 会議室 : 45 m²
 - 事務室 : 30 m²

(3) 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

(4) 休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

(5) 観覧料

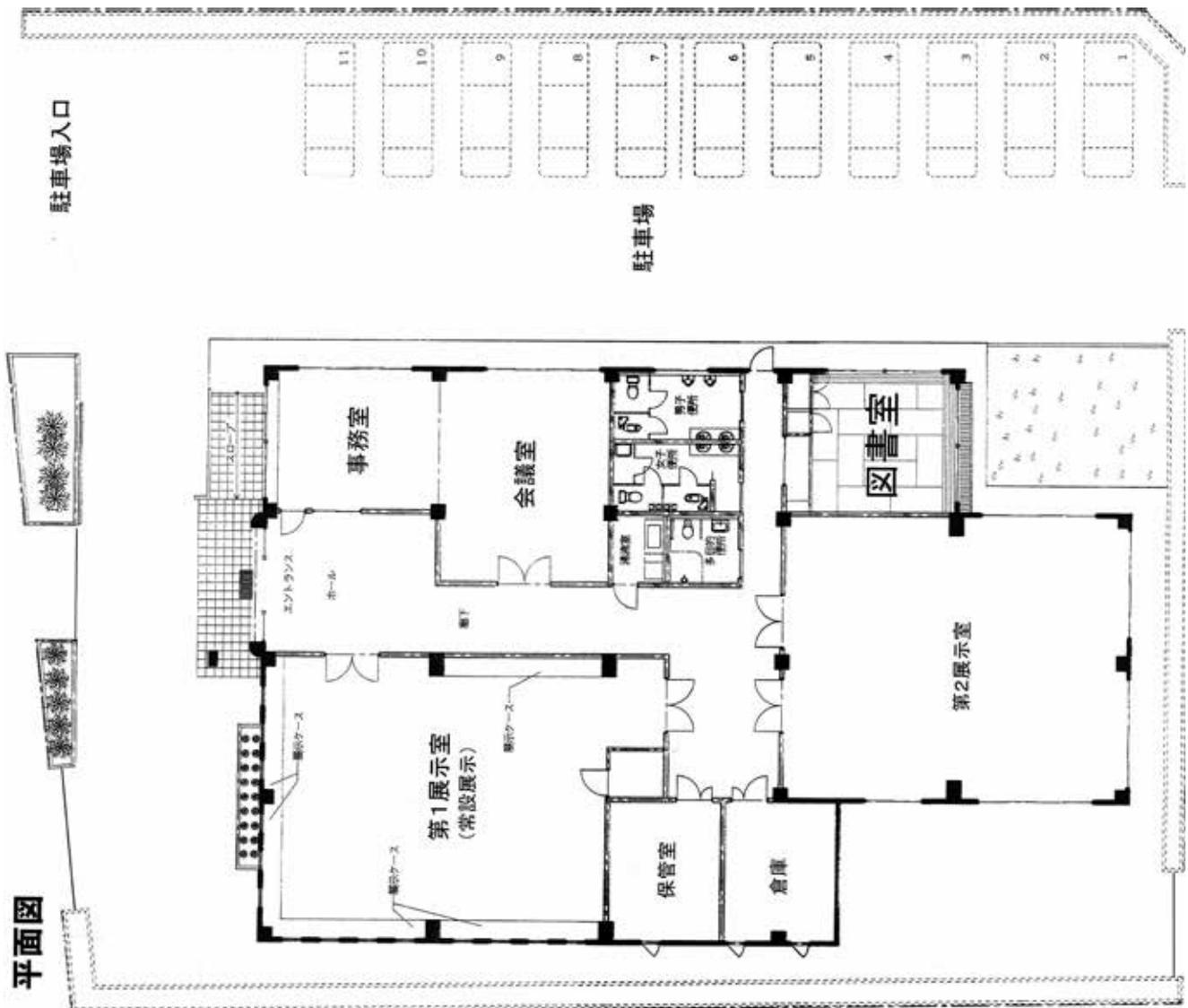
大人 100円 団体 70円 ※団体は20名以上
子ども 50円 団体 35円

(6) 展示構成

- ① アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
- ② 沖縄戦と八重山
- ③ 戦争マラリアの悲劇
- ④ マラリア根絶に向かって
- ⑤ 戦争マラリア援護会の活動
- ⑥ 八重山地域における平和発信拠点を目指して

(7) 展示物の内容

- ① 写真、地図、絵のパネル等
- ② 戦前の切手、紙幣、硬貨等
- ③ 遺品類（ハガキ、キセル等）
- ④ 高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）
- ⑤ 児童生徒の平和メッセージ展の八重山地区受賞作品（詩、図画、作文）



3 事業概要

(1) 展示活動

①「八重山地域マラリア防遏の歴史～患者ゼロを達成するまで～」

フーキ、ヤキーなどと呼ばれ、八重山の人々を苦しめてきたマラリア。患者の発生がゼロを達成するまでの防遏の歴史を振り返り、マラリア防遏に尽力した先人たちに感謝の念を深める機会とした。

【期間】平成29年6月1日(木)～6月21日(水)

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】816名



②「開拓移民の歴史～ふる里を手離し、ふる里を造った人たち～」

戦後、引揚者等により人が溢れ、食糧難を引き起こした沖縄。そのような状況下、沖縄各地から新たな耕作地を求めて石垣島や西表島に入植し、新たな村を建設していった人々の当時の様子等を写真や資料で紹介した。

【期間】平成29年11月1日(水)～11月26日(日)

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】971名



③「世界人権宣言」パネル展

人権週間(12月4日～10日)に合わせ、世界人権宣言の趣旨及びその重要性を広く訴え、人権を尊重する精神の高揚を図ることを目的として実施した。

【期間】平成29年12月1日(金)～12月10日(日)

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】75名



(2) 平和教育活動

① 学校教員向け見学説明会

学校で平和活動が活発に行われる6月を前に、学校教員を対象に、館内の展示解説、利用や活用方法等を説明し、学校の利用促進を図った。

【日時】平成29年5月18日(木)～6月8日(木)

【場所】八重山平和祈念館

【参加者】15名(初任者教員及び初任研担当教員等)



② 慰霊の日 ビデオ上映会

沖縄県の慰霊の日にあたり、平和とは何かを考えさせる映画を上映することで、児童生徒への平和教育への一環とした。

【日時】平成29年6月23日(金)

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】24名



③ 第27回 児童・生徒の平和メッセージ展

本館で主催したメッセージ展の八重山会場。児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩各部門の優秀作品の展示を行い、「児童・生徒の平和メッセージ」を発信する機会とした。

【期間】平成29年7月12日(水)～7月22日(土)

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】154名



④ 夏休み企画(平和についての調べ学習コーナー等)

夏休みの平和学習の場として、自由研究等に取り組む児童生徒への支援を行い、併せて体験学習コーナーやアニメビデオ上映会を行った。

【期間】平成29年8月1日(火)～8月27日(日)

【場所】八重山平和祈念館

【内容】平和についての調べ学習コーナー
アニメ上映会 等

【参加者】282名



(3) 調査研究活動

① 聞き取り・現地調査・類似館視察等

月別入館者数 平成29年度 八重山平和祈念館

	常設展示室(第1展示室)											第2展示室 企画展等 入館者数 ※入場無料
	個人入館者数				団体入館者数				入館者総数			
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
平成29年 4月	163 (20)	15 (1)	178 (21)	47 (5)	41 (0)	88 (5)	210 (25)	56 (1)	266 (26)			
平成29年 5月	157 (29)	24 (15)	181 (44)	2 (2)	49 (49)	51 (51)	159 (31)	73 (64)	232 (95)			
平成29年 6月	217 (74)	80 (61)	297 (135)	131 (131)	628 (628)	759 (759)	348 (205)	708 (689)	1,056 (894)	816		
平成29年 7月	162 (61)	72 (41)	234 (102)	14 (0)	45 (0)	59 (0)	176 (61)	117 (41)	293 (102)	154		
平成29年 8月	151 (11)	51 (17)	202 (28)	13 (1)	55 (0)	68 (1)	164 (12)	106 (17)	270 (29)	282		
平成29年 9月	119 (12)	22 (3)	141 (15)	30 (1)	32 (0)	62 (1)	149 (13)	54 (3)	203 (16)			
平成29年10月	124 (5)	7 (1)	131 (6)	41 (7)	313 (0)	354 (7)	165 (12)	320 (1)	485 (13)			
平成29年11月	284 (11)	43 (28)	327 (39)	2 (2)	59 (59)	61 (61)	286 (13)	102 (87)	388 (100)	971		
平成29年12月	152 (17)	18 (7)	170 (24)	62 (7)	120 (0)	182 (7)	214 (24)	138 (7)	352 (31)	75		
平成30年 1月	196 (33)	17 (7)	213 (40)	22 (0)	0 (0)	22 (0)	218 (33)	17 (7)	235 (40)	153		
平成30年 2月	158 (5)	9 (2)	167 (7)	41 (4)	55 (0)	96 (4)	199 (9)	64 (2)	263 (11)	316		
平成30年 3月	146 (15)	24 (1)	170 (16)	25 (5)	363 (0)	388 (5)	171 (20)	387 (1)	558 (21)			
合計	2,029 (293)	382 (184)	2,411 (477)	430 (165)	1,760 (736)	2,190 (901)	2,459 (458)	2,142 (920)	4,601 (1,378)	2,767		

()は内数で無料入場者数

X 沖縄県平和祈念資料館友の会

1 活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話及び絵本の読み聞かせ
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車による戦跡案内
- (6) その他

2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行行程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

*電話での申込及び変更には応じられませんのでご了承ください。

3 申込条件

- (1) 申込締切は原則として2ヶ月前とします。
- (2) 平和学習の団体については事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

県内学校及び地域における学習支援	1回につき	5,000円
平和講話	1回につき	10,000円
ポイントガイド	1回につき	5,000円
バス乗車	1回につき	10,000円
その他	要相談	

※協力金は終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

4 平成29年度講話・ガイド活動実績件数

◎平成29年4月～平成30年3月までの活動状況

団体	団体件数	実施人数	派遣講師
高等学校	56（県内17）	14,001	68
中学校	64（県内12）	11,288	102
小学校	20（県内16）	8,434	21
その他	60	1,071	69
計	200	34,794	260

5 平成29年度活動内容

- (1) 2階常設展示室の解説員 配置実績60人
- (2) 協力事業：平成29年5月3日（水）「平和祈念財団」鯉のぼり掲揚式への協力
- (3) 友の会総会：平成29年5月13日（土）
- (4) 学習会1：平成29年5月20日（土） 平和学習ウォーク
「月桃の花咲く頃 安里から～首里への道」
学習会2：平成29年8月6日（日） 平和学習フィールドワーク
「伊江島の戦跡巡りと米軍LCT爆発事故現場での検証・体験者証言」
学習会3：平成30年3月24日（土） 平和学習ウォーク
「安里から首里への道 戦場への根こそぎ動員」
- (5) 平和講話及びガイド、マスコミ等取材対応



総会の様子

XI 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（昭和49年沖縄県条例第30号）の全部を改正する。

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは工作物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。

3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあるとき。
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

- 第11条** 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。
- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
 - (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
 - (3) 許可に付した条件に違反したとき。
 - (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

- 第12条** 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

- 第13条** 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事の指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

- 第14条** 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。
- (1) 第18条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
 - (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

- 第15条** 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定〕

- 第16条** 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認められるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。
- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
 - (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
 - (3) 事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

〔指定管理者の指定等の告示〕

- 第17条** 知事は、前条の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。
- 2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

- 第18条** 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。
- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
 - (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
 - (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
 - (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

- 第19条** 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

- 第20条** 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

- 第21条** 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。
- 2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

- 第22条** この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

備考

- この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第7条関係）

1 施設使用料

区 分		単 位	使 用 料
平和祈念資料館 (分館を除く。)	ホ ー ル	1時間につき	1,570円
	展 示 室	1日につき	4,520円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- ホールを練習、準備のため専用して使用する場合は、この表の区分に従い、当該区分に定める額の100分の30に相当する額とする。
- 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関する規則（昭和49年沖縄県規則第57号）の全部を改正する。

〔趣旨〕

第1条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年沖縄県条例第11号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第2条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後4時30分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第3条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。

ただし、第1号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

(1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1月1日から同月3日まで

(3) 年末休館日 12月29日から同月31日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第4号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第4条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第1に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第5条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第2条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前6号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第2号、第3号及び第7号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第2号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第1項第4号、第5号及び第6号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第6条 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式。以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。

- 3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

- 第10条** 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。
- 3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。
- (1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。
 - (2) 国又は地方公共団体が使用するとき。
 - (3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

- 第11条** 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。
- (1) 天災その他使用者の責めに帰することができない事情により使用できなかったとき。
当該使用料の全額
 - (2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割
 - (3) 使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割
- 2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

- 第12条** 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。
- (1) 沖縄県が使用するとき。 免除
 - (2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に関する事業を行うために使用するとき。 免除
 - (3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合
- 2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書（第9号様式）を知事に提出しなければならない。
- 3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書（第10号様式）を使用者に交付するものとする。

〔使用方法等の事前打合せ〕

第13条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

〔使用者の遵守事項〕

- 第14条** 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
- (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
 - (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
 - (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
 - (4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

〔行為の制限〕

- 第15条** 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。
- (1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為
 - (2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
 - (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
 - (4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布
 - (5) 許可された場所以外の場所への立入り
 - (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
 - (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
 - (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

〔損傷等の届出〕

第16条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

〔使用後の点検〕

第17条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

〔寄贈及び寄託〕

第18条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書（第11号様式）又は資料寄託申請書（第12号様式）を提出しなければならない。
- 3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

〔受領証の交付〕

第19条 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証（第13号様式）を交付するものとする。

〔寄託資料の保管〕

第20条 第18条第1項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

〔寄託資料の返還〕

第21条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

- 2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第22条 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第14号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第23条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第15号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第24条 第22条第1項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第25条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

- 2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。
- 3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第26条 条例第15条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第16号様式）によるものとする。

- 2 条例第15条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。
 - (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
 - (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市町村長が発行するものに限る。）
 - (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
 - (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
 - (5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔事業報告書〕

第27条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第28条 条例第21条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。
- 3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 5 会長は運営協議会を代表し、会務を総理する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 8 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 9 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 10 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

- 11 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
 12 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
 13 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第29条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種別	品目	単位	使用料	
ホール	舞台	1台	300円	
	司会者卓	1台	150円	
	花台	1台	100円	
	金びょうぶ	1双	700円	
	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
		ワイヤレスマイク	1本	450円
		カセットテープレコーダー	1台	300円
		CDプレーヤー	1台	500円
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円
		レーザーディスクプレーヤー	1台	500円
	照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円
		サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円
		アップーホリゾンライト（150W×60灯）	1列	360円
ローアホリゾンライト（150W×60灯）		1列	300円	
フットライト（60W×48灯）		1列	100円	
フォロースポットライト（1KW）		1式	100円	
その他		映写機16mm	1台	1,260円
	スライドプロジェクター	1台	520円	
会議室	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
		ワイヤレスマイク	1本	450円
		カセットテープレコーダー	1台	300円
		CDプレーヤー	1台	400円
		ビデオデッキ（VHS）	1台	400円
	その他	ビデオプロジェクター	1台	1,260円
オーバーヘッドプロジェクター		1台	520円	
展示室	その他	展示ケース（大）	1台	1,000円
		展示ケース（小）	1台	500円

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区	分	単位	使用料
平和祈念資料館 （分館を除く）	ホール	1時間につき	2,110円
	展示室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展示室	1時間につき	100円

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

沖繩県立平和祈念資料館(旧館) 年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧											無 料 観 覧 者	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	備 考
	観 覧 料 種 別					出 身 別			計							
	大人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)		県内	県外	外国								
昭和50年度	13,784(75)	2,025(11)	1,759(9)	900(5)						18,468			18,468	248	74	
51年度	9,520(53)	4,200(23)	963(5)	3,408(19)						18,091			18,091	306	59	
52年度	10,480(54)	4,264(22)	818(4)	3,932(20)						19,494			22,047	307	72	
53年度	14,022(40)	4,855(14)	1,877(5)	14,097(41)						34,851			34,851	220	158	
54年度	22,288(41)	6,307(12)	3,600(7)	21,513(40)						53,708			53,708	305	176	
55年度	20,727(39)	5,830(11)	3,109(6)	23,762(44)		3,506	22,746	176		53,428			53,428	307	174	
56年度	20,215(34)	5,985(10)	3,367(6)	29,211(50)		33,671	24,797	310		58,778			60,564	304	199	
57年度	26,357(36)	7,077(10)	4,243(6)	34,584(48)		33,709	38,030	522		72,261			73,646	307	240	
58年度	26,359(35)	8,051(11)	4,827(6)	36,272(48)		34,795	40,029	685		75,509			77,490	307	252	
59年度	27,265(34)	9,203(11)	3,932(5)	39,791(50)		32,646	46,335	1,210		80,191			83,067	255	326	
60年度	29,888(31)	13,263(14)	4,701(5)	49,073(50)		34,993	60,371	1,561		96,925			99,623	306	326	
61年度	27,529(27)	13,364(13)	4,629(5)	54,622(55)		34,783	63,581	1,780		100,144			102,573	306	335	
62年度	40,566(34)	14,395(12)	5,441(5)	57,976(49)		33,298	83,019	2,061		118,378			123,253	306	403	
63年度	45,058(34)	16,719(13)	5,557(4)	63,910(49)		32,819	95,473	2,952		131,244			134,586	306	440	
平成元年度	35,325(31)	14,477(12)	7,016(6)	59,363(51)		27,941	84,600	3,640		116,181			121,844	307	397	
2年度	29,514(29)	12,281(12)	5,950(6)	52,511(52)		22,855	74,010	3,391		100,256			118,618	306	388	
3年度	26,687(30)	11,246(13)	5,279(6)	45,409(51)		20,182	64,938	3,501		88,621			97,514	305	320	
4年度	26,500(32)	9,778(12)	5,661(7)	40,021(49)		17,197	61,011	3,752		81,960			92,890	307	303	
5年度	22,667(28)	11,191(14)	5,683(7)	41,461(51)		15,272	62,130	3,600		81,002			85,047	310	274	
6年度	18,056(23)	9,161(12)	4,563(6)	48,084(60)		13,551	62,528	3,785		79,864			82,834	310	267	
7年度	70,319(45)	16,676(11)	13,837(9)	53,282(35)		45,214	104,854	4,046		154,114			161,761	308	525	
8年度	59,643(39)	16,393(11)	11,056(7)	64,840(43)		26,540	121,886	3,506		151,932			157,525	311	507	
9年度	62,485(35)	13,247(8)	10,137(6)	91,099(55)		20,128	153,889	2,951		176,968			183,908	310	593	
10年度	58,196(35)	10,647(6)	10,426(6)	89,965(53)		15,211	151,195	2,828		169,234			174,179	312	558	
11年度	59,654(34)	8,367(4)	9,952(6)	97,464(56)		12,128	160,724	2,585		175,437			180,247	295	611	
										2,307,039			2,411,762			

沖縄戦の真相にふれるたびに
戦争といふものは
これほど残忍で、これほど汚辱にまみれたものはな
らと思っています

この さまざまな体験の前では
いかなる人でも
戦争を肯定し美化することは できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です
しかし それ以上に
戦争を許さない奴力のできぬのも
私たち 人間 下はない下しようか

戦後このかた 私たちは
あらゆる戦争を増み
平和な島を建設せねば と思いつけてきました

これが
あまりにも大きすぎた代償を払って得た
ゆずることのできない
私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館 展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第18号

2018 (平成30) 年6月



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住 所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp

八重山平和祈念館 (分館)

住 所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

